

指定管理者制度導入施設における  
モニタリング結果について  
(令和3年度実績)

令和4年8月  
男鹿市

# 目 次

## 1. 指定管理者制度のモニタリング基準

1～3

## 2. 指定管理者制度導入施設

No.	施設名	指定管理者	担当課	ページ
<b>総務企画部</b>				
1	若美中山間地域活性化施設	申川町内会	若美支所	4～6
2	若美南部地区運動広場	小深見町内会	若美支所	7～9
3	福川地区運動広場	福川町内会	若美支所	10～12
<b>市民福祉部</b>				
4	男鹿市北部デイサービスセンター	社会福祉法人男鹿市社会福祉協議会	福祉課	13～15
5	男鹿市北部在宅介護支援センター	社会福祉法人男鹿市社会福祉協議会	福祉課	16～18
6	男鹿市斎場	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	生活環境課	19～21
7	男鹿市立各保育園(7施設)	社会福祉法人男鹿保育会	子育て支援課	22～24
<b>観光文化スポーツ部</b>				
8	なまはげ館	株式会社おが地域振興公社	観光課	25～27
9	温浴ランドおが	株式会社おが地域振興公社	観光課	28～30
10	夕陽温泉WAO・若美かんぼの里コテージ村	株式会社おが地域振興公社	観光課	31～33
11	インフォメーションセンターわかみ	一般社団法人男鹿市観光協会	観光課	34～36
12	男鹿総合観光案内所	一般社団法人男鹿市観光協会	観光課	37～39
13	男鹿温泉交流会館五風	男鹿温泉郷協同組合	観光課	40～42
14	男鹿市シルバーワークプラザ	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	男鹿まるごと売込課	43～45
15	男鹿市複合観光施設	株式会社おが	男鹿まるごと売込課	46～48
16	男鹿駅周辺広場	男鹿駅周辺広場賑いづくり共同事業体	男鹿まるごと売込課	49～51
17	市内体育施設	一般財団法人男鹿市体育協会	文化スポーツ課	52～54
18	サンワーク男鹿	公益社団法人男鹿市シルバー人材センター	文化スポーツ課	55～57
<b>産業建設部</b>				
19	福野地区農村公園	福野町内会	農林水産課	58～60
20	申川地区農村公園	申川町内会	農林水産課	61～63
21	八ツ面地区農村公園	八ツ面町内会	農林水産課	64～66
22	福米沢地区農村公園	福米沢町内会	農林水産課	67～69
23	野石地区農村公園	野石町内会	農林水産課	70～72
24	男鹿市農村婦人の家	脇本郷財産管理委員会	農林水産課	73～75
25	男鹿市農林水産物直売所	男鹿市なまはげ直売所運営協議会	農林水産課	76～78
26	平岱山牧野	男鹿市北部草地利用組合	農林水産課	79～81
27	館沼牧野・館沼第2牧野	西水口郷中	農林水産課	82～84

## 指定管理者制度のモニタリング基準

### 1 基準の目的

男鹿市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 17 年男鹿市条例第 48 号）第 8 条では、「市長は、公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務及び経理の状況に関し、定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。」とされています。

本基準は、指定管理者制度を導入した施設について、モニタリング実施に関する共通した基準を作成することにより、指定管理者による管理運営の適正を図ることを目的とするものです。

### 2 モニタリングとは

モニタリングとは、指定管理者による業務が、関係法令に従い、協定書・仕様書及び指定管理者の事業計画書に沿って適正に行われ、業務の履行に関し、適切かつ確実に確保されているかを指定管理者からの報告や実際の現地調査などにより確認し、必要に応じ改善に向けた指導・助言を行い、管理運営の継続が適当でないと認めるときは指定の取消し等を行う一連のチェック体制のこととあります。

### 3 モニタリングの方法

市は指定管理者による施設の管理運営が、協定書、仕様書及び指定管理者の事業計画に基づくサービス水準（施設の管理業務や企画事業実施の内容等）を維持し、併せて施設の安定した運営を図るため、次の方法を基に指定管理者と協議し、適切にモニタリングを行うものとします。

#### (1) 指定管理者によるモニタリング

##### ア 業務遂行の記録

指定管理者は、日常・定期的に行う清掃、機器点検、安全対策等のほか、施設の利用状況、料金の収納状況等について、また、苦情・トラブルに対しては、その理由及び対応を日報、月報等に記録し、月報等については市に報告するものとします。

##### イ 利用者満足度調査（アンケート等）

指定管理者は、利用者の意見や要望を把握するために、自己の責任と費用により、定期的（最低年 1 回）な利用者満足度調査として利用者アンケートを実施することとします。

調査項目としては、接客対応、施設・設備、利用条件、利便施設、企画内容等についての満足度を調査することが考えられますが、内容、実施方法、仕様等については、指定管理者が設計するものとします。

その結果については、施設内に掲示するなどし、今後の管理に反映させるととも

に、市に報告するものとします。

ウ 事業報告書の提出（法定事項）

毎年度事業終了後 30 日以内（指定の取消しを受けたときは、その日から起算して 30 日以内）に業務遂行の記録等に基づき整理を行い、事業報告書として市に提出しなければなりません。

**【根拠】**

地方自治法第 244 条の 2 第 7 項

男鹿市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 8 条

**【事業報告書の内容】**

- ・管理業務の実施状況
- ・利用状況、利用拒否等の件数及び理由
- ・利用料金の収入実績
- ・管理経費の収支状況
- ・その他市長が別に定める事項

エ 事業評価（自己評価）

指定管理者は指定管理の自己評価を行い、指定管理者モニタリングシートを作成し市に提出するものとします。

(2) 市（所管課）によるモニタリング

ア 業務の実施状況の確認（連絡調整会議、実地調査）

市は、上半期及び下半期に各 1 回以上指定管理者が管理する施設への立入り等により、業務の実施状況の確認を行うとともに、必要に応じて指定管理者に関係書類の提示を求め、その内容を確認するものとする。

確認すべき項目としては、施設の保全、施設の清掃、機器の点検、安全対策、企画事業の実施、サービスの質の維持向上対策などがある。

また、職員賃金や公共料金等の支払いが適正に行われているかを併せて確認する。

イ 日報、週報、月報の確認（指定管理者と協議）

指定管理者から提出された月報等に基づき、施設の管理、利用状況について確認する。

ウ 事業報告書の確認

指定管理者から提出された事業報告書に基づき、管理業務の実施状況、施設の利用状況、利用拒否等の件数及び理由、利用料金の収入実績、管理経費の収支状況などについて確認する。

オ 事業報告書の処理（所管課評価）

施設所管課は、指定管理者の定期的な報告、指定管理者モニタリングシート（自己評価）及び事業報告書に基づき、当該内容を確認・検証し、必要に応じて指定管理者に対してヒアリングを実施するものとする。

以上に基づき、所管課は指定管理者の事業評価を行い、指定管理者モニタリング

シートを作成するものとする。

カ 指定管理者への改善指示及び指定の取消し

指定管理業務の評価の結果、改善が必要な場合は、関係法令及び当該団体との間で締結した協定書に沿って、所定の手続を行うものとする。

(3) 財務状況の確認

市は、指定管理者である法人あるいは団体の決算の都度、速やかに財務書類等の提出を求め、指定管理者の財務状況を確認することとする。

その結果、継続的にサービスを提供することが困難であるおそれがあると認められる場合は、指定管理者との協議の場を設定し、悪化要因や今後の対策等について説明を受け、指定管理者業務の継続的な運営を主眼として協議を行うものとする。

この場合、指定管理者の財務運営の健全化に向けた対策は自己責任で行うことが基本であることに留意すること。

(4) モニタリング結果の公表

全指定管理施設の検証結果シートは、9月市議会定例会の各常任委員会に報告後、総務課において取りまとめの上、ホームページで公開します。

なお、総務課によるホームページでの公開に合わせて、施設の所管課においては、当該所管施設の事業計画書や事業報告書等の管理運営の状況を掲載しているホームページに当該評価シートを掲出するものとします。

#### 4 モニタリングの運用

モニタリングは、原則としてすべての指定管理者制度導入施設について行うものとする。

既に指定管理者と協定を締結し、管理運営が開始されている施設にあっても、利用者の立場にたった施設運営のために、指定管理者と協議し、より良い運用を図るものとする。

#### 5 モニタリングの評価基準

指定管理施設のモニタリング評価（指定管理者による自己評価、所管課による検証評価）については、下記の基準による評価とする。

【凡例】評価基準	
A 80点以上	【特に優れている】
B 70点以上 80点未満	【優れている】
C 60点以上 70点未満	【適正である】
D 50点以上 60点未満	【改善が必要である】
E 50点未満	【問題があり適切な措置を講じる必要がある】

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	若美支所

## 1 公の施設

施設名称	若美中山間地域活性化施設	所在地	男鹿市野石字苦竹台18番地2
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	所在地:男鹿市野石字苦竹台18-2 敷地面積:794.87㎡ 施工者:佐藤工業 佐藤正廣 事業費:26,775千円		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	申川町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字申川107	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和3年度は実施せず 町内会役員会時等の利用			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	32 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	25 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因				
来年度の目標設定の考え方				

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図っている。		町内会役員会等、地域住民が参加する際に使用されており、適切である、	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図っている。		町内会役員会等、地域住民が参加する際に使用されており、適切である、	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題なし	
②地域振興への 貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、町内会役員会等の利用のみ		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極 的に行っているか	町内会行事開催の際は、広報等で地域住民に 周知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		今後も町内会行事で積極的に使用することを 望む	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる。		施設内も清掃されており、利用しやすい体制整 備がなされている	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	問題なし		問題なし	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握 も適切に行われているか	問題なし		問題なし	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	定期的に清掃、整理整頓を実施し環境維持に 努めている。		施設内も清掃されており、備品も整然としており 問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	長期間使用しない場合にはブレーカーを操作 したり、ごみの分別等行っている。		問題なし	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画し行っている。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようになっている。	町内会役員から支所へ連絡される体制をとっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的に行っている。	問題なし。若美支所で消防点検を行っており問題点なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努めながら利用している。感染症流行のため利用機会は限定されているが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点施設となっており、支所との連携も良好である。消防点検は若美支所で実施するなど関与しているが、今後は無償譲渡も検討されており、引き続き効果的な維持管理に努めてほしい。



# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	若美支所

## 1 公の施設

施設名称	若美南部地区運動広場	所在地	男鹿市払戸字川向3番地1
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	所在地:男鹿市払戸字川向3-1 台帳面積:10,643.00㎡ 実測面積:10,588.36㎡ 敷地内に、消防器具置場あり		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	小深見町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市払戸字横長根180	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和3年度は実施せず			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	感染症予防の観点から、事業実施せず。			
来年度の目標設定の考え方	感染症の流行状況を踏まえながら、実施を検討する。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図っている。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用されており、適切である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が集い、コミュニティ活動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図っている。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に使用されており、適切である。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題なし	
②地域振興への 貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、事業実施せず		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	町内会行事開催の際は、広報等で地域住民に 周知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	施設の利用には影響ないが、バックネットにた るみが見られる。		使用に影響はないが、今後も劣化状況を継続 して確認する。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握 も適切に行われているか	施設の利用には影響ないが、バックネットにた るみが見られる。		使用に影響はないが、今後も劣化状況を継続 して確認する。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りを定期的実施し、環境維持に努めて いる。		環境整備されており、問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	運動広場のため、特別な対応を実施せず		運動広場のため、特別な対策を実施せず	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画し行っている。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようになっている。	町内会役員から支所へ連絡される体制をとっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的実施している。	問題なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし
5 その他【       】			
①	.		
②	.		
③	.		

#### 6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努め利用している。前年に続きコロナウイルス感染から利用実績はなかったが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点施設となっており、支所との連携も良好である。感染症流行により利用機会が減少しているが、引き続き効率の良い維持管理に努めてほしい。 バックネットのたるみなど一部に劣化が見られるので、危険性が増した場合は速やかに支所に連絡すること。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	若美支所

## 1 公の施設

施設名称	福川地区運動広場	所在地	男鹿市福川字堅石106番地
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	所在地:男鹿市福川字堅石106 台帳面積:10,643.00㎡ 実測面積:8,917.00㎡ 敷地内に、消防器具置場、朋友館あり		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福川町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市福川字福川25	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	使用の許可、使用の制限等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 その他施設の管理上、市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	感染症予防の観点から、令和3年度は実施せず			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	10 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	感染症予防の観点から、運動広場を使用した事業は実施せず。			
来年度の目標設定の考え方	感染症の流行状況を踏まえながら、実施を検討する。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民が共に集い、交流を通してコミュニティ活 動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図 る。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に 使用されており、適切である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が共に集い、交流を通してコミュニティ活 動の参加機会の拡大を図り、地域の活性化を図 る。		例年、町内行事等、地域住民が参加する際に 使用されており、適切である。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づいた業務を行っている。		基本協定に基づいた管理を行っており、問題 なし	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理しており、連携が図られている。		町内会で管理しており、連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	感染症予防の観点から、事業実施せず		感染症予防の観点から、事業実施せず	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	町内会行事開催の際は、広報等で地域住民に 周知している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	町内会行事の開催場所として利用している。		主に地域住民を利用対象としていることから、 行っていない。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	円滑に利用できるよう、体制整備に取り組んで いる。		利用者は主に町内会員であるが、引き続き取り 組んでもらいたい。	
3 効率的な管理			C		D
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	問題なし		問題なし	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	問題なし		問題なし	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りを定期的実施し、環境維持に努めて いる。		環境整備されており、問題なし	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	運動広場のため、特別な対応を実施せず		運動広場のため、特別な対策を実施せず	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員を中心に、施設環境の整備を計画し行っている。	地域住民が協働して施設の管理を行っている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	問題なし	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しており、利用者との対応について問題なし
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するよう体制を整備している。	問題なし
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	使用にあたって危険と思われる場所については近づかないよう周知している。	引き続き周知に努めてもらいたい。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は速やかに町内会に連絡するようになっている。	町内会役員から支所へ連絡される体制をとっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を定期的に行っている。	問題なし
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	目的外利用等なし	問題なし
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料の徴収はしていない	利用料の徴収はしていない
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし	利用料徴収していないため、収支に関する書類なし
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

#### 6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	地域住民の交流の場として、環境整備に努めながら利用している。町内会としてはコロナウイルスの影響で事業の中止が相次いでいるが、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	地域住民交流の拠点となっており、支所との連携も良好である。感染症流行のほか、老人クラブの解散等により利用機会が減少しているが、引き続き効率の良い維持管理に努めてほしい。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年7月8日
所管課	福祉課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市北部デイサービスセンター	所在地	男鹿市北浦北浦平岱山2-24
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>在宅の高齢者に対して、食事、入浴、日常動作訓練等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図ること及び、介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的としている。</p> <p>平成8年3月開設。利用定員30人。</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(福)男鹿市社会福祉協議会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川片田74	利用料金制	使用料
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>1. 施設の利用等に関する業務 (1)介護保険法に規定する通所介護に関する業務</p> <p>2. 施設及び設備の維持管理業務 (1)施設及び設備機器の保守管理業務 (2)施設機器の運転操作及び監視業務 (3)備品等管理業務 (4)清掃業務 (5)保安警備業務 (6)維持管理計画作成業務 (7)事故発生時の対応</p> <p>3. 運営管理業務 (1)組織及び人員配置 (2)事業計画書の作成 (3)事業報告書の作成 (4)事業評価業務 (5)関係機関等の連絡調整 (6)指定管理終了後の引継ぎ</p>			
自主事業の実施状況	自主事業は実施していない。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	6,269 人	50,303,146 円 (0)	52,082,198 円	(1,779,052) 円
当該年度目標	7,168 人	54,861,000 円 (0)	61,961,000 円	(7,100,000) 円
当該年度実績	6,940 人	55,519,217 円 (0)	53,770,986 円	1,748,231 円
実績等の増減原因	<p>利用回数が増えたケースや冬期間のショートステイ・市外の家族宅滞在を中止したケースがあり、昨年度より実績増となった。コロナ禍によおける利用者親族の県外への往来により、利用中止となるケースが想定より多かったため、利用回数は目標に届かなかった。収入面は、利用廃止者より新規利用者の介護度が高い傾向にあったため、目標額を超える結果となった。</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>サービスの質を維持しながら、新規利用者の受け入れをスムーズに行うため、介護員不足を解消する。</p>			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	通所介護計画のモニタリングでは、利用者・家族の90%以上が利用に関して「満足・ほぼ満足」の評価であった。
利用者アンケートの内容	アンケートは実施していない。

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針		C		B
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	職員全員が市の方針、施設の設置目的を理解 した上で運営している。	協定に基づき適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	関係法令、運営規定、利用契約に基づき公正 な利用を確保している。	運営規定等に基づき適正に運営がなされてい る。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定、年度協定等に基づき、適正に行っ ている。	業務報告書等を確認した結果、業務は適正に 行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	民生委員からの情報提供、ボランティアの受け 入れなど地域との連携が図られている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	自主事業はなし	在宅介護支援センターと連携した自主事業の 実施を検討していただきたい。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	法人ホームページに施設や行事等の紹介を掲 載し、PRに努めている。	法人のHP及び業務報告書等を確認した結果、 適正に行われている。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	介護支援専門員に施設の空き情報を提供し、 困難ケースにも柔軟に対応している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	投書箱、相談箱を設置し、利用者の声をサー ビスに活かしている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
3 効率的な管理		C		B
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	維持管理計画を立て、保守点検・清掃等を行 っている。修繕等は、担当課、建設課と連携し 行っている。	床暖房の修繕対応をし、機能が保持されてい る。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品台帳に基づき、定期的に棚卸を行い、利 用状況を把握している。	定期的に更新しており、適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	職員が毎日清掃・消毒している他に定期清掃 を委託し清潔に保たれている。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、 適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	休憩時間の消灯、冷暖房の温度設定、帳票を メール提出するなど省エネに取り組んでいる。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、 適正に行われている。	



4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	社会福祉士、介護福祉士、看護師、調理員など各業務に必要な知識と経験を有する職員を配置している。	適切な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	接遇チェックリストで、毎月個々に振り返りを行っている。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	役職・職種ごとの研修の機会が確保されている。参加後は伝達研修を行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	受付担当、対応担当、解決担当を設けて適切に対応している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	ヒヤリハットを報告し、職員全員で情報を共有することで事故防止に努めている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急時の連絡体制を確立し、各自が自分の役割を把握している。防災マニュアルを整備し、職員へ周知している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	定期的に防災、避難訓練を行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	守秘義務を全職員に徹底している。個人情報を含む書類はシュレッターで処分、パソコンデータは本部サーバーに保管し、適正に管理されている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
C	利用者一人一人の尊厳の保持、人権、権利擁護を基本とし、ケアプランに基づき適切なサービスを提供することができた。 感染防止対策を徹底し、コロナ禍においても通常営業することができた。 研修の機会を確実に確保するために、リモート研修の環境を整備する必要がある。 床暖房設備の修繕を行い、冬期間も快適に過ごしていただくことができた。
所管課評価	(評価欄)
B	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、概ね適正に行われていた。 指定管理者側で床暖房の修繕を実施し、安全性と良好な機能等の保持につながった。 専門員によるケア体制が確立されており、利用者及び地域住民からも信頼を得ている。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年7月8日
所管課	福祉課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市北部在宅介護支援センター	所在地	男鹿市北浦北浦平岱山2-24
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	地域の高齢者やその家族からの在宅介護や生活上の悩みなどの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように関係機関との連絡調整を行う。また、地域のネットワークを活かし高齢者の実態把握を行う。 平成8年3月開設。		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(福)男鹿市社会福祉協議会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川片田74	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	高齢者実態把握業務 総合相談業務 施設、設備、備品等の維持管理に関する業務			
自主事業の実施状況	自主事業は行っていない。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	26 人	118,100 円 (0)	118,100 円	0 円
当該年度目標	24 人	120,000 円 (0)	120,000 円	0 円
当該年度実績	27 人	120,000 円 (0)	120,000 円	0 円
実績等の増減原因	地域住民に「在宅介護支援センター」の存在と役割が周知する機会が少なかったため、実績の増加に結び付かなかった。			
来年度の目標設定の考え方	民生委員等の地域のネットワークと連携し、高齢者の実態把握を行うことで実績の増加につなげる。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケートは実施していない。
利用者アンケートの内容	アンケートは実施していない。

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		B
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	的確に理解したうえで運営している。		協定に基づき適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	適正に運営している。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	民生委員やボランティアと連携を図っている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	自主事業は行っていない。		北部デイサービスセンターと連携し、自主事業 を検討していただきたい。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	法人ホームページに業務内容を掲載し、PRに 努めている。		いろいろな媒体を利用し、周知に努めてほし い。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	民生委員やボランティアと連携を図り、利用促 進に取り組んでいる。		施設の認知度が低いので、いろいろな媒体を 利用し、周知に努めてほしい。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	24時間いつでも相談に応じられる体制を整え ている。		業務報告書等を確認した結果、適正に行われ ている。	
3 効率的な管理			C		B
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物・設備の保守点検・清掃等を行っており、 修繕等は、担当課、建設課と連携し行っている。		修繕等適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品台帳に基づき、定期的に棚卸を行い、利 用状況を把握している。		定期的に更新しており、適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	職員が毎日清掃・消毒している他、専門業者に 定期清掃を委託し清潔が保たれている。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、 適正に行われている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	休憩時間の消灯、冷暖房の温度設定等、省エ ネに取り組んでいる。		現地確認及び業務報告書等を確認した結果、 適正に行われている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	社会福祉士、介護福祉士など業務に必要な知識と経験を有する職員を配置している。	適切な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	接遇チェックリストで、毎月振り返りを行っている。	現地確認及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	役職・職種ごとの研修の機会が確保されている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	受付担当、対応担当、解決担当を設けて適切に対応している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	事故の事例検討を行い、事故防止に努めている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	併設のデイサービスセンターと連携し、緊急時の連絡体制を確立している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	併設のデイサービスセンターと共同で、定期的に防災・避難訓練を行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	重要性を認識し、個人情報が含まれる書類はシュレッターで処分し、パソコンデータは本部サーバーに保管し、適正に管理している。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行っている。	業務報告書等を確認した結果、適正に行われている。
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 相談者に対して真摯に対応し、必要な保健・福祉サービスが受けられるように関係機関との連絡調整を図った。 地域住民への「在宅介護支援センター」の存在と役割の周知が足りなかったためか、実績が伸びなかった。 相談がきた時点で、介護サービスが必要な状態であるケースが多かったため、地域の高齢者の健康寿命を延ばすという観点から、要介護予備軍を掘り起こし実態把握につなげるが必要であった。
C	
所管課評価	(評価欄) 現地調査及び業務報告書等を確認した結果、概ね適正に行われていた。 施設及び備品等は、適切に維持管理を行っているため、安全性と良好な機能等が保持されている。 介護支援専門員等が利用者等のニーズに沿った適切なサービスの提供が実施されている。 地域において、相談のニーズは一定数あると思われることから、デイサービスと併設されている強みを活かしながら、「在宅介護支援センター」の存在と役割について周知に努めていただきたい。
C	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	生活環境課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市斎場	所在地	男鹿市脇本田谷沢要沢
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	構造：鉄筋コンクリート造平家建 延床面積：742.36㎡(床面積574.3㎡) 施設内容：火葬炉2基、汚物路1基、炉前ホール、収骨室2室、機械室、電気室、残灰室、倉庫、ガスバーナー室、霊安室、待合ホール、待合和室2室、事務室 竣工年月：昭和62年12月		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	使用料
施設の運営・維持管理の業務内容	(1) 火葬及び焼却に関する業務 ①埋火葬許可証受理確認、②炉前業務、③火葬業務、④収骨業務、⑤火葬済証明業務、⑥残骨灰等管理業務 (2) 施設及び施設の維持管理に関する業務 ①火葬炉及び付帯機器の運転・保守業務、②建物及び敷地に係る維持管理に関する業務、③除雪業務 (3) 清掃に関する業務(施設、敷地内の美観及び清潔の保持) (4) 安全管理業務(利用者の安全指導、場内パトロール、緊急時の対応等) (5) 事務処理業務(申請書及び文書の保存・管理、施設の維持管理業務の適正な事務処理) (6) 報告業務(火葬等の状況報告) (7) その他の業務(施設の案内、備品管理等)			
自主事業の実施状況	自主事業は実施していない。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	817 人	21,002,397 円 (21,002,397)	20,999,189 円	3,208 円
当該年度目標	人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	802 人	22,024,973 円 (22,024,973)	22,022,740 円	2,233 円
実績等の増減原因	利用者数等の増減要因は、主に死亡者数の増減によるものである。			
来年度の目標設定の考え方	上記の理由により、利用者数等の目標設定はしていないが、今後、高齢化の進展により、利用者は増加するものと思われる。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	ご家族や関係者の方には、概ね満足頂いているが、施設は建築後30年以上経過しており、火葬炉などの老朽化による補修工事が必要となっており、ご不便をかけている面がある。
利用者アンケートの内容	利用者アンケートを実施し、ご家族などからの意見や指摘に対し、業務改善に努めている。

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。	市の方針や設置目的を理解し、適切な運営を行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。	利用者が平等に利用できるよう適正な運営に努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理の業務を適正に執行している。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか			
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか			
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか			
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか			
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	亡くなった方の年齢や性別に応じて、適切な火葬業務を心掛けた。	ご遺族等に対し、適切な火葬業務を行っている。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、所管課に報告し、必要な修繕を行うなど、適切に管理した。	建物や設備の機能保持のため、必要な修繕は市と協議するなどして、適切に管理している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握した。	備品台帳等により適切に管理されており、利用状況も適切に把握している。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清掃員3名を配置した。シフト表を作成し、1名を常駐させ、常に清潔な状況の維持に努めた。	施設の清潔保持のため、清掃員を常駐し、維持管理に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。	節電、節水など省エネ対策に取り組んでいる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	火葬業務3名、受付案内業務2名、清掃業務3名でシフト表を作成し、施設運営を行った。火葬の際は、各業務ごとに1名ずつを常時配置し、施設の適正な管理運営を行った。	火葬、受付・案内、清掃業務をシフト配置し、施設の適正な管理運営に努めている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	利用者に対する接遇、マナーは常に丁寧な対応がされている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	指定管理者であるシルバー人材センター職員が常に勤務状況を確認し、斎場職員の資質の向上に努めた。	斎場職員の資質向上のため、定期的に研修等を実施している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられた意見や苦情については、斎場職員とシルバー人材センター職員が内容を確認しながら業務改善に努めた。	意見や苦情については、斎場職員とシルバー人材センター職員とで内容を協議し、業務改善を図っている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	利用者状況を把握し、注意喚起を行うなど事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	事故、災害時等の緊急行動マニュアルが作成されており、適切に対応できるよう努めている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年2回、防災避難訓練を実施した。	定期的に防災訓練を実施している。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については、細心の注意を払い管理した。	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については、予算に基づき適切な執行を行った。	収支計画に基づいて適正な予算執行を行っている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は、適切に管理した。	文書、帳簿等の管理を適切に実施している。
5 その他【           】			
①	.		
②	.		
③	.		

#### 6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
B	令和3年度は、新型コロナウイルスの感染対策に留意し施設管理を行った結果、火葬に立ち会った親族や関係者等に感染者・濃厚接触者などは発生していない。また、火葬炉の不具合に際しては、市担当者とともに早期復旧とご遺族の対応に努めた。施設管理では、概ね適切に執行されたと判断している。
所管課 評価	(評価欄)
B	斎場は、市民生活および公衆衛生の観点から火葬場を通常通り運営しなければならない。新型コロナウイルス感染症拡大の状況において、その対策に努め、遺族関係者および斎場職員に感染者や濃厚接触者は発生していない。 利用者に対する接遇マナーの向上や個人情報の適正な取り扱いに努めているほか、建物や設備の安全性と機能が保持されているなど、適切な施設管理が行われている。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年5月9日
所管課	子育て支援課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市立各保育園	所在地	男鹿市船川港船川字片田74
指定期間	平成 30 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月	評価対象期間	令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月
施設概要	1.男鹿市立船川保育園(認定こども園)【所在地】男鹿市船川港船川字外ヶ沢123番地1【定員】150人 2.男鹿市立脇本保育園【所在地】男鹿市脇本脇本字前野7番地【定員】100人 3.男鹿市立船越保育園【所在地】男鹿市船越字本町9番地1【定員】205人 4.男鹿市立北浦保育園【所在地】男鹿市北浦北浦字鍛冶屋長根52番地2【定員】60人 5.男鹿市立五里合保育園【所在地】男鹿市五里合神谷字下石27番地【定員】60人 6.男鹿市立若美南保育園【所在地】男鹿市払戸字渡部13番地【定員】90人 7.男鹿市立玉ノ池保育園【所在地】男鹿市野石字玉ノ池1番地483【定員】45人		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(社福)男鹿保育会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市船川港船川字片田74	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1.男鹿市立保育園の運営に関する業務 2.男鹿市立保育園の施設及び維持管理に関する業務 3.病後児保育における保育士等の業務 4.その他市長が必要と認める業務			
自主事業の実施状況	市立保育園の運営管理を目的として、市が全額出資して設立した法人であるため、自主事業は実施していない。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	444 人	478,188,382 円 (477,982,000)	437,621,740 円	40,566,642 円
当該年度目標	460 人	475,121,000 円 (475,121,000)	475,121,000 円	0 円
当該年度実績	407 人	475,125,113 円 (475,121,000)	452,646,057 円	22,479,056 円
実績等の増減原因	保育士不足のため人件費の減(途中退職者、休職者等)			
来年度の目標設定の考え方	保育士不足の解消(目標:新規採用者5名、途中退職者0名)			



#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	各保育園で保護者アンケートを実施した結果、「満足、どちらかといえば満足」が大半であった。7保育園集計「満足、どちらかといえば満足」94.5%
利用者アンケートの内容	保育目標、保育環境・行事、衛生・感染症予防、給食、危機管理、職員等について

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	市との協定内容を踏まえ、事業計画に基づく保育園の管理、運営を行った。	男鹿市立保育園の指定管理を協定に基づき、適正に実施している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	保育計画や月案等を保育内容に反映し、子ども一人ひとりの育ちを保證できるよう努めている。	保育計画や月案等を保育内容に反映し、子ども一人ひとりの育ちを保證できるよう努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		A		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定、年度協定等に基づき、保育園運営を適切に行った。	指定管理料の範囲内で施設管理、人件費、園児の保育材料等を適正に執行している。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	新型コロナウイルスの感染拡大により、中高生のボランティアの受け入れや地域との交流事業が中止になった。 保育実習生は、健康観察を行ったうえで受け入れをし実習の機会を提供することができた。	コロナ禍でボランティアの受け入れや交流は中止となったものの、制限された中でも工夫をしながら保育実習生を受け入れるなどした。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	自主事業はなし		
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	園ごとの施設や保育目標などをホームページに掲載し、PRに努めている。	求人情報や保育士支援策をHPに掲載し、随時更新している。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	保育サービスの内容を市のホームページに掲載しているほか、各園で保護者からの相談に丁寧に関わりサービスを提供している。	市と連携し、適切に行っている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	児童の多い保育園にICTシステムを導入したことにより、保護者がいつでも欠席連絡ができる等、利便性の向上に繋がった。 また、感染症発生の際には、保護者に迅速に配信し、感染拡大防止に努めている。	児童の多い保育園へのICT導入により、保護者の利便性向上を図っている。 感染症に関するメール配信などによる迅速な連絡、注意喚起を行っている。	
3 効率的な管理		A		A
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	保守点検、清掃等を定期的に行っているほか、修繕等は担当課、建設課と連携し行っている。	施設の点検を適正に実施し、修繕も市と連携をし、速やかに対応し安全性を保っている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品の点検を定期的に行い、台帳を整理し、適切に使用している。	適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	新型コロナウイルス感染症対策のため、これまで以上に園内の消毒を徹底した。特に子どもが触れるおもちゃ等に気を付け、安心・安全に過ごせるよう環境整備に取り組んだ。	園内清掃、衛生管理に日々努めている。 新型コロナウイルス感染症対策についても常に徹底を図っている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	施設運営に影響の出ない範囲で経費削減に取り組んでいる。	光熱水費は経費節減に努めている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	国の最低基準の保育士数は満たしているが、長時間の開所や休日保育、支援を要する園児への加配等に対応するための保育士不足が生じている。	加配等に対応するための保育士確保について、養成校への訪問や採用試験の周知など努力をしている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	保護者との信頼関係を築き、話しやすい、相談しやすい環境づくりを行うよう努めた。保護者の子育ての悩み等、話しやすい雰囲気を作ることを職員一同心がけ配慮することができた。	苦情件数が少なく、適切な対応が伺える。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	役職、職種ごとの研修の機会が確保されている。コロナ禍においてリモート研修が増えたが、環境を整えスムーズに実施している。	キャリアごとの研修の機会を確保している。リモート研修に対応できる環境を整備している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	各園に寄せられた意見には丁寧に対応し回答をしている。苦情やトラブルがあれば速やかに事務局、園で共有し解決をしている。	保護者のニーズに合わせた保育に努力している。また、各園との情報共有が徹底されていることから、苦情にも速やかに対応できている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	園児の年齢に応じて危険となり得るもののチェックを行い、事故予防に努めた。すでに発生した事故を検証し、再発防止のための対応策を職員で共有をした。	園児の年齢に応じた危険箇所の確認を行い事故予防に努めているほか、発生した事故についての検証を行い、再発防止について職員で対策を共有し、事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	災害時の役割分担表を掲示し、緊急時に分担当対応できるよう訓練している。保護者が参加し、災害時の保護者メールの連絡及び園児引き渡し訓練を年1~2回行っている。	各保育園において、事故や災害におけるの指針、計画を策定し、職員全体に周知している。非常時を想定した保護者への連絡、園児引き渡し訓練を行っている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	火災、地震、津波等の災害発生時における緊急対応マニュアルを整備し、月1回以上訓練を行っている。	緊急対応マニュアルを整備し、災害発生時における訓練を定期的に行っている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	職員に園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している。	組織全体で個人情報保護に努めている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	指定管理料を拠点(保育園)ごとに配分し、事務局において適切に管理している。	男鹿保育会事務局において、適切に管理、執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	事務局において適切及び厳重に管理している。	男鹿保育会事務局において、適切に管理、執行されている。
5 その他【           】			
①	.		
②	.		
③	.		

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) コロナ禍において施設内の消毒や手洗い等の衛生面の徹底、園児及び職員の健康観察にこれまで以上に気を配り、安全に保育する環境づくりに努めることができた。 感染拡大により、保護者が参加する行事の中止や規模縮小により、実際に子どもの様子を見て成長を感じる機会が少なくなりましたが、個人面談や育児相談等、保護者との情報交換を通して成長を感じてもらえる機会を提供することができた。
B	課題である保育士の採用と定着に関しては、新規採用者への就職祝金支給(10万円)や経験者への前歴加算を行い予定数を確保することができた。在職者へは市と協議し、賃金引上げ等の待遇改善を行ったほか、大規模保育園にICTシステムを導入して業務負担の軽減を図った。 今後も家庭との連携を図りながら、子どもの育ちを支える保育を行い、保護者支援についても丁寧に対応して行けるよう自己評価、園評価に取り組んでいく。
所管課評価	(評価欄) 令和3年度は新型コロナウイルス感染症が収束の見通しがたたない中での園運営が続き、衛生面の徹底や園児・職員の健康観察など感染症対策について日々対応方針の変更が求められる中でも迅速に対応していることや、感染拡大により保護者が参加する行事の機会が減少する中でも子どもの成長について保護者に伝える機会を工夫し保護者に寄り添った園運営を図っている点で評価できる。 保育士の確保については、採用や定着のための処遇改善策を検討し、市と協議を行いながら日々園運営を円滑に運ぶための努力をしている。 指定管理料の中での運営となるが、保護者のニーズに応えながら、常に安心して子どもを預けられるような園運営に努めているものと評価できる。
A	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	なまはげ館	所在地	男鹿市北浦真山水喰沢
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>【設置目的】 なまはげの保存伝承とふるさと意識の高揚を図るとともに、観光拠点としての役割を担う。</p> <p>【開館日】 平成11年7月23日</p> <p>【規模等】 敷地面積 10,829.45㎡</p> <p>【施設概要】 RC造平屋建/延床面積1,836.428㎡ 付帯:里暮らし体験塾(母屋・納屋)・駐車場・池・モニュメント等</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務 (5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	<p>・「なまはげ柴灯まつり」に合わせ、16:00～終了の間、無料開放。</p> <p>・修学旅行団体に、より実際の行事に近い状況でナマハゲを体験してもらえよう、男鹿温泉宿泊限定で「夜のナマハゲ体験」を提案し、なまはげ館・男鹿真山伝承館を貸切で対応。高評価をいただき次年度以降も予約有り。</p> <p>・「里暮らし体験塾」において男鹿の生活文化(食・物作り等)体験。感染防止のため体験メニュー・受入人数を限定しながら市内の学校、女性グループなどを対象に実施。</p>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	58,653 人	64,941,944 円 (0)	78,261,059 円	(13,319,115) 円
当該年度目標	103,000 人	92,830,000 円 (0)	92,174,000 円	656,000 円
当該年度実績	65,884 人	71,065,363 円 (0)	83,753,883 円	(12,688,520) 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大による利用者数の大幅な減少のため。(※団体予約キャンセル約27,000名)			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルスによる行動制限は緩和されると想定し、団体予約も上期分は一般募集团体及び修学旅行も例年並みに申し込みがきており、利用者数をコロナ禍前の平均値の約87%に目標を設定した。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	来館者にアンケート調査を行った結果、当館の総合的な満足度は、「非常に満足」「満足」が全体の95.6%を占める結果となり、来館時の直接の苦情や、自社ホームページでのお問い合わせ等からの苦情等もほぼなかった。
利用者アンケートの内容	8月・2月に感染症対策を講じたうえで対面式で実施、館内の展示内容、スタッフの対応、総合的な満足度の他性別・年代・住居・来館のきっかけ、来館回数、交通手段、要望等を調査。

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			A		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	「男鹿のナマハゲ」の伝承保存、観光拠点の役割を担いながら誘客及びお客様に紹介をしている。		「男鹿のナマハゲ」について適切に紹介・解説し、文化財保護と観光振興の両立を図っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用料金をパンフレット・館内掲示物に告知し適切に運営している。		WEBサイトの情報更新等も含め、適正に運用されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		A
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	建物・機械設備等定期的に巡回チェックし、不具合があるときは速やかに対応している。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO、温泉組合、GAO、オガレー等と連携しスタンプラリー、企画商品、営業活動の実施している。		市のDMO推進事業や教育旅行誘致事業等も含め、適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	ナマハゲ及び男鹿の食・文化を紹介する自主企画を実施している(なまはげ館・里暮らし体験塾)。 ※里暮らし体験塾はコロナ化の中、地域の方々の協力が難しく、従業員への感染対策を最優先にし体験メニュー・人数等限定しながら実施		他観光事業者とも連携し、なまはげ柴灯まつり等に合わせて冬季誘客のためのナマハゲに関する自主事業を展開するとともに、行事の基盤である地域の伝統文化の継承等も踏まえた里暮らし体験塾での自主事業も感染症対策を講じながら実施されている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	自社HP等を活用し、イベントや自主企画を広く告知。県内外の旅行会社へ営業及びホームページ等で周知している。		WEBサイトや各種パンフレットのほか、積極的に広告展開も図っている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	コロナ化の中、特に県内・隣県の教育旅行誘致及びコロナ収束後の募集团体誘客について、市及び観光関係者と誘致活動に取り組んでいる。		市や関係施設と教育旅行誘致を行うだけでなく、自主的な営業展開も図っており、コロナ禍で制約があるものの、成果を挙げている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	コロナ化の中、キャッシュレス(POSレジ導入)等感染防止も対応、無料Wi-Fi環境整備等も実施している。また、観光庁実証事業を行い、新たに館内でなまはげ変身アプリを活用した「ARなまはげ変身体験」導入し、導入後お客様の評価も良い。		利用者目線での利便性向上に対して積極的に取り組んでいる。	
3 効率的な管理			A		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等定期的に巡回チェックし、不具合があるときは速やかに市にも報告し対応している。		適切に管理・報告がなされ、良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	毎日清掃業務従事担当者を配置し実施。社員が状況チェック・指示している。		館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	従業員スペースのこまめな消灯を全従業員へ徹底しており、冷暖房のこまめな入切を行っている。		省エネに対する従業員の意識は高いものの、開館より20年以上が経過し、ハード面での省エネの取組が必要である。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	月次シフト作成時、業務内容・予約に合わせ人員を計画。時間帯業務もボードで周知徹底している。	原則年中無休の施設として、コロナの感染状況等を鑑みながら、適正な配置がなされている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	気づいた点は毎日の朝礼で指示し、苦情があった際は全員に報告し再発防止を徹底している。	当該年度における当施設に対するクレームはわずかにあったものの、再発防止は徹底されており、概ね適切な接遇が行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	当館が加盟してる市観光協会・県観光連盟等主催の接遇研修開催時は極力参加するようにしている。	市や市観光協会が主催する各種研修にも積極的に参加している。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即統括支配人、業務責任者へ引継ぎ・報告し対応している(改善可能なものは即対応)。	統括支配人を中心に連絡体制が確立されている。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	正社員は毎日館内外を開館前・開館中に巡回しチェックしている。	施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを作成し、緊急時には対応している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回実施している。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管。不要になったものはシュレッターで廃棄処分している。	適正に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書・帳簿類はバインダーに整理し決められた場所に保管し、通帳は施錠できる場所に保管している。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			A	A
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温実施・記録。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	自社の判断で早々に対応しており、他施設の手本となっている。	
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時検温・アルコール消毒(全て非接触型で対応)必須。フロント・売店カウンターへアクリル板設置。映画鑑賞時椅子を削減し間隔をとるよう配慮している。	体験コーナーをARによる体験に変更するなど、独自に取り組んでおり、他施設の手本となっている。	
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気の徹底のほか、空気清浄機を10台(4台増)とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	積極的な予防体制を構築している。	

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、県外及び海外からのお客様をメインターゲットにしている当館においては、団体予約のキャンセルが約27,000名あったこともあり、入館者数・収益とも令和2年度に続き、開館以来2番目に悪い数値となった。 アフターコロナを見据えて、迅速に誘客に繋げられるよう、旅行会社等に対してはDMOや他観光施設等と連携して様々な企画提案を行っており、その中で、教育旅行(修学旅行)については、コロナ禍で方面変更が相次ぐ中、県内学校の取込に成功し、206校・10,732名の実績(前年比較75校/5,238名の増)と好調であり、内容に対する評価も高く、次年度以降の予約にも繋がっている。 令和4年度は、ここ2年間中止となっている「竿燈まつり」や「大曲の花火」等大規模イベントも実施の方向で計画され、予約ベースでは首都圏・関西・九州・北海道等、一般募集团体からの申し込みもコロナ前に近い数値になっており、さらなる誘客拡大のために、約2年間積極的な営業活動ができなかった首都圏等大都市部への営業活動を積極的に行っていく。
B	
所管課評価	(評価欄) 前年度に引き続きコロナ禍により影響を受けているものの、これまでの自社の営業活動により、一定の入館者と売上を確保しており、積極的な情報発信や、サービス向上の取組を図っている。また、重要無形民俗文化財及びユネスコ無形文化遺産に登録されている「男鹿のナマハゲ」の保存伝承と観光振興を両立しており、隣接する男鹿真山伝承館や真山神社や他観光施設との協働体制を構築し、相乗効果を上げている。 指定管理料に頼らず、当施設を適切に運営しており、当市の指定管理者制度における成功例と考えている。
A	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	温浴ランドおが	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>【設置目的】 住民の健康及び福祉の増進並びに交流の促進を図るとともに、一般観光客の利用に供する。</p> <p>【開館日】 平成8年8月2日</p> <p>【規模等】 敷地面積9,993㎡</p> <p>【施設概要】 RC一部鉄骨2階建/延床面積1,255.791㎡</p> <p>付帯: 付帯棟(電気室・源泉水及び排水処理室・貯湯タンク及び浄化槽制御室)・駐車場・案内看板等</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務</p> <p>①事業計画書作成      ②収支計画作成、執行      ③事業報告書作成</p> <p>④人員配置計画作成      ⑤物品の維持管理      ⑥連絡調整事務      ⑦災害・事故発生時の対応</p> <p>⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務</p> <p>①建物管理      ②工作物管理      ③施設管理      ④植物管理      ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務</p> <p>①入館料の設定及び授受      ②利用サービス等      ③その他</p> <p>(4)事務処理業務</p> <p>(5)事業評価業務</p> <p>①利用者アンケート調査等      ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループや団体客の宴会時の無料送迎</li> <li>・マッサージやレストランの設置</li> </ul>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	43,836 人	46,015,588 円 (21,438,000)	46,616,316 円	(600,728) 円
当該年度目標	52,300 人	56,548,000 円 (24,343,000)	56,548,000 円	0 円
当該年度実績	42,860 人	51,779,726 円 (24,343,000)	50,231,059 円	1,548,667 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大による利用者数の減少及びそれに伴うイベント・宴会・カラオケ等の減少のため。			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルスによる行動制限は緩和されると想定し、利用者数をコロナ禍前の令和元年度の約82%に目標を設定した。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	満足度調査に対し、満足との回答は8割を維持している。なお、館内温度の管理に対する意見をいただいている。
利用者アンケートの内容	①住所 ②性別 ③年齢 ④月の利用回数 ⑤温泉浴の満足度 ⑥脱衣所、ロビー等の設備の良悪 ⑦従業員の接客 ⑧レストランの食事の良悪 ⑨レストランの待ち時間 ⑩お客様満足度

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携し運営している。	住民福祉・観光利用の観点からも適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者を差別偏見なく、平等に受け入れており入浴拒否はゼロである。	適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき適正に業務を行っている。	適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMOや各観光施設と連携を図っている。	市や男鹿市観光協会とも適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地場産の山菜等をレストランで使用している。	地場産食材を用いたメニューの提供や、地域内のイベント等との連携も行っているが、さらなる自主事業の拡大により利用者の増加を図る必要がある。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	道の駅や観光施設にパンフレット等を配布しており、市の総合観光パンフレットにも広告を掲載している。	WEBサイトの運用や独自のパンフレット等の作成をしているが、より効果的なPRが求められる。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	レストランメニューの更新を行っている。	取り組みに対するPRが徹底されているか確認が必要であり、さらなる自主事業の拡大により利用者の増加を図る必要がある。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	ポイントカードの発行やポイント2倍デーを設けている。	利用者へのサービス向上の取り組みは進められている。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等の定期点検及び巡回チェックを実施し、不具合を発見したときは速やかに市に報告するとともに対応している。また、定期的に敷地内の草刈りを行っている。	建物や設備の老朽化が著しいものの、日々の適切な管理により機能が維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。	適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定時での清掃の他、臨時清掃も行っている。	館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化されている。ただし、過去にレジオネラ菌が検出されていることから、清掃や管理の徹底に努める必要がある。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	季節や気温に応じて、濾過器等機械の開始時間を調整し、省エネに取り組んでいる。	光熱水費は削減傾向であることを踏まえて、対策は進められている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	月次シフト作成時、業務内容・予約に合わせ人員を計画し、時間帯業務もボードで周知徹底している。	施設を維持するうえでの最低限の配置や運営はなされているものの、利用者増や収益拡大のためには、自主事業の企画立案やPRを行う人員が必要と考える。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	気づいた点は毎日の朝礼で指示し、苦情があった際は全員に報告し再発防止を徹底している。	当該年度における当施設に対するクレームはわずかにあったものの、再発防止は徹底されており、概ね適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	当館が加盟してる市観光協会・県観光連盟等主催の接遇研修開催時は積極的に参加するようにしている。	市や市観光協会が主催する各種研修にも積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即寺に統括支配人、業務責任者へ引継ぎ・報告し対応している(改善可能なものは即対応)。	統括支配人を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	開館前及び営業時間中は毎日定時で館内外を巡回しチェックしており、危険個所や不具合を発見した際は、共有し立入禁止等の処置をしている。	施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを作成し、緊急時には対応している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回実施している。	適切に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管。不要になったものはシュレッターで廃棄処分している。	適正に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書・帳簿類はバインダーに整理し決められた場所に保管し、通帳は施錠できる場所に保管している。	適切に管理されている。
5 その他【新型コロナウイルス対応及びバリアフリー対応】		B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温実施・記録。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に管理されている。
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時の検温・アルコール消毒を促すとともに、座席の間引きや消毒の徹底を行っている。また、空気清浄機を6台とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	適切に対応している。
③バリアフリー対策	・高齢者等への対応	足の悪い方のために小部屋にテーブル席を設置している。	利用者の年齢構成に合わせて、可能な範囲で対応している。

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 施設の老朽化に伴い、突発的な不具合に対する修繕のために臨時休業をしたことがあったものの、お客様の安全確保、設備メンテナンス、清掃等については全従業員で管理を徹底しており、また、クレームやご意見については、朝礼等で周知し、可能なものは即座に改善策を講じるなどサービスの向上に努めている。また、利用者数の増加については月別、日別での目標値を設定し、目標達成に向けたミーティングを行っているほか、中型車やマイクロバスを活用してお客様の送迎を行い、利便性の向上を図っている。 経費については、燃料価格の高騰を受け、機械設備の稼働時間(開始時間)を季節によって細かく調整しコストカットに努め、コロナ禍で客数減ではあったものの黒字で着地できており、当該施設の設置趣旨に従い適切な管理運営を行っている。
B	
所管課評価	(評価欄) 施設開設から26年が経過し、施設や設備の老朽化が進む中、適切な管理により、施設を運営している。当該年度も引き続きコロナ禍の影響により、コロナ前と比較して利用者が3割以上落ち込んでいるものの、営業時間短縮や機器の調整などコスト削減に努めた結果黒字であったことは、日々の営業努力によるものと考え。一方、より積極的な自主事業の展開による利用者サービスの向上を図り、市民の利活用を促すことが必要である。 改善事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に管理・運営していると認められる。
B	



# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	夕陽温泉WAO・若美かんぼの里コテージ村	所在地	男鹿市野石大場沢下1-17
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>夕陽温泉WAO            【設置目的】地域住民が温泉を利用して健康及び福祉の増進を図る。            【開館日】平成5年7月21日            【規模等】敷地面積 10,896.37㎡            【施設概要】RC造平屋建/延床面積946.695㎡            付帯:受水設備建屋・浄水設備建屋・貯湯槽建屋・揚湯総湯棟・駐車場・案内看板等</p> <p>若美かんぼの里コテージ村            【設置目的】豊かな自然環境を活用し、魅力あふれるふるさとづくりと地域の活性化を図るため。            【開館日】平成6年11月25日            【規模等】敷地面積7,728.45㎡            【施設概要】木造平屋建4人用コテージ6棟/木造平屋建6人棟コテージ5棟            付帯:職員休憩棟・案内看板等</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(株)おが地域振興公社	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務            ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成            ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応            ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務            ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務            ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務            (5)事業評価業務            ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	・入館者の無料送迎			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	49,686 人	62,440,616 円 (30,016,000)	58,302,548 円	4,138,068 円
当該年度目標	53,690 人	62,185,000 円 (26,901,000)	62,185,000 円	0 円
当該年度実績	46,965 人	58,845,189 円 (26,901,000)	58,645,839 円	199,350 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大により、観光客・帰省客の減少やイベント・各種大会の中止などにより、利用者と収入が減少した。支出の増は、光熱費の燃料価格高騰によるもの。			
来年度の目標設定の考え方	新型コロナウイルスによる行動制限は緩和されると想定し、利用者数をコロナ禍前の令和元年度の約90%に目標を設定した。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	アンケート集計の結果、8割が満足との回答をいただいている。また温泉の泉質が良いという声が多く、満足度は高いと考えられる。
利用者アンケートの内容	①住所 ②性別 ③年齢 ④月の利用回数 ⑤温泉浴の満足度 ⑥脱衣所、ロビー等の設備の良悪 ⑦従業員の接客 ⑧レストランの食事の良悪 ⑨レストランの待ち時間 ⑩お客様満足度。

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携し運営している。	住民福祉・観光利用の観点からも適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者を差別偏見なく、平等に受け入れており入浴拒否はゼロである。	適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている。	適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMOや各観光施設と連携を図っている。	市や男鹿市観光協会とも適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	地場のお米等をレストラン食材で使用している。	地場産食材を用いたメニューの提供や、地域内のイベント等との連携も行っているが、さらなる自主事業の拡大により利用者の増加を図る必要がある。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	道の駅や観光施設にパンフレット等を配布しており、市の総合観光パンフレットにも広告を掲載している。	WEBサイトの運用や独自のパンフレット等の作成をしているが、更新頻度が低く、より積極的なPRが求められる。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	市民を対象とした無料送迎、レストランメニューの更新している。	取り組みに対するPRが徹底されているか確認が必要であり、さらなる自主事業の拡大により利用者の増加を図る必要がある。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	ポイントカードの対象を現金利用者の他、回数券利用者に拡大し、ポイント2倍デーを設けている。	温泉施設での利用者へのサービス向上の取り組みは進められているが、コテージ村での取り組みも必要である。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等の定期点検及び巡回チェックを実施し、不具合を発見したときは速やかに市に報告するとともに対応している。また、定期的に敷地内の草刈りを行っている。	建物や設備の老朽化が著しいものの、日々の適切な管理により機能が維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。	適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	定時での清掃の他、臨時清掃も行っている。	館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	季節や気温に応じて、エアコン・ボイラー等の稼働や温度設定を調整し、省エネに取り組んでいる。	光熱水費は削減傾向であることを踏まえて、対策は進められている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	月次シフト作成時、業務内容・予約に合わせ人員を計画し、時間帯業務もボードで周知徹底している。	施設を維持するうえでの最低限の配置や運営はなされているものの、利用者増や収益拡大のためには、自主事業の企画立案やPRを行う人員が必要と考える。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	朝礼時に挨拶等の言葉遣いを注意するよう指導している。	当該年度における当施設に対するクレームはなく、適切な接遇が行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	接遇講習会などには積極的に出席させている。	市や市観光協会が主催する各種研修にも積極的に参加している。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ご意見・苦情等は即寺に統括支配人、業務責任者へ引継ぎ・報告し対応している(改善可能なものは即対応)。	統括支配人を中心に連絡体制が確立されている。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	開館前及び営業時間中は毎日定時で館内外を巡回しチェックしており、危険個所や不具合を発見した際は、共有し立入禁止等の処置をしている。	施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	マニュアルを作成し、緊急時には対応している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	消防法に基づく年2回の避難訓練等を行っている。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管。不要になったものはシュレッターで廃棄処分している。	適正に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は、費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	書類別にファイリングしているほか、通帳は金庫で保管しているなど適切に行っている。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温を実施し、記録している。37.5度以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に管理されている。	
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時、検温・アルコール消毒を促しているほか、カウンターに飛沫防止シートを設置している。レストランにアクリル板を設置している。	適切に対応している。	
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気の徹底のほか、空気清浄機5台とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	適切に対応している。	

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 施設の老朽化を考慮し、お客様の安全確保、設備メンテナンス、清掃等については全従業員で管理を徹底しており、また、クレームやご意見については、朝礼等で周知し、可能なものは即座に改善策を講じるなどサービスの向上に努めている。また、利用者数の増加については月別、日別での目標値を設定し、目標達成に向けたミーティングを行っているほか、無料送迎を行い利便性の向上を図っている。
B	経費については、燃料価格の高騰を受け、機械設備の稼働時間(開始時間)を季節によって細かく調整しコストカットに努め、コロナ禍で客数減ではあったものの黒字で着地できており、当該施設の設置趣旨に従い適切な管理運営を行っている。
所管課評価	(評価欄) 施設開設から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進む中、適切な管理により、施設を運営している。当該年度も引き続きコロナ禍により、利用者が前年比で2割以上落ち込んだものの、コスト削減により利益を確保できていることは、日々の営業努力によるものと考えられる。また、無料の送迎巡回バスの運行等により、市民の利活用を積極的に促していることは評価できるものの、更なる自主事業の展開による利用者サービスの向上など、より積極的な取り組みが必要である。
B	より良い施設運営へ向けて、改善事項はあるものの、指定管理者として、当施設を適切に管理・運営していると認められる。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	インフォメーションセンターわかみ	所在地	男鹿市払戸字大堤127
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>【設置目的】観光宣伝及び地場産業の普及宣伝等を行い、産業経済の振興に寄与するとともに、市民の生活文化の向上と地域の活性化を図る。</p> <p>【開館日】平成3年9月</p> <p>【規模等】敷地面積 2,377.99㎡</p> <p>【施設概要】鉄骨造平屋建/延床面積316.25㎡ 付帯:駐車場・モニュメント等</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(一社)男鹿市観光協会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川泉台66-1 内 男鹿市役所	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務            ①事業計画書作成      ②収支計画作成、執行      ③事業報告書作成            ④人員配置計画作成      ⑤物品の維持管理      ⑥連絡調整事務      ⑦災害・事故発生時の対応            ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務            ①建物管理      ②工作物管理      ③施設管理      ④植物管理      ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務            ①入館料の設定及び授受      ②利用サービス等      ③その他</p> <p>(4)事務処理業務            (5)事業評価業務            ①利用者アンケート調査等      ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	・みどりの会とレストラン白山、当会が連携した収穫感謝祭(年間2回開催)の開催。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	33,708 人	5,220,275 円 (3,290,000)	4,867,798 円	352,477 円
当該年度目標	33,000 人	5,567,477 円 (3,417,000)	5,567,477 円	0 円
当該年度実績	31,484 人	5,396,469 円 (3,417,000)	5,387,421 円	9,048 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大による観光者数及び地域住民による利用者数の減による。			
来年度の目標設定の考え方	当施設の収入割合は、みどりの会及びレストラン白山によるテナントによる割合が高いことに加え、比較的近隣住民等の利用も多いことから、2つのテナントの安定的な運営による利用者の増加が重要である。来年度は引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、行動制限の緩和が見込まれていることから、コロナ禍前の令和元年度と同規模で設定している。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	当施設では男鹿なび・メール及びアンケートにより、お客様の声を収集しているが、当該年度に当施設へ寄せられた苦情はなかった。また、地域住民を中心として、リピーター客が多くを占めており、満足度は平均以上であると考えられる。満足度アップへの課題としては、農産物の安定化(数量・品揃え)とレストランの安定した利用が重要であると考えられ、年間を通じた品揃えやメニューの充実によりお客様の要望に応じていく。
利用者アンケートの内容	観光インフォメーションの案内対応やレストラン、農産物販売コーナーでの対面販売などの接客対応、トイレの衛生面などについて、アンケート調査用紙を店内に配置し、回答を依頼している。

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光情報の発信、観光案内の充実を図り、情報の一元化による公平な案内に努め、公共施設運営者としての自覚をもった運営を行っている。	県北方面からの来訪者を受け入れる観光案内施設として、観光情報発信を適切に行うと同時に、地場産農産物の直売を通して、産業経済の振興にも寄与している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	イベント時の営業時間延長などによるお客様目線での営業形態により運営している。	適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例・規則などを遵守しお客様の安全と施設の管理に努めている。	適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	プランターを設置しみどりの会などによるボランティアなどと協同で管理している。	市や他の観光施設とも適切な協力関係が保たれており、ボランティアとの連携も図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	利用者への還元イベントとして、年間2回の収穫感謝祭を開催している。	地域や施設の特徴を活かして、独自のイベントを実施しているが、さらなる利用者の拡大のための自主事業の実施が必要である。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	収穫感謝祭の開催を新聞折り込みで告知し集客に努めている。また、市観光情報ポータルサイトへの情報掲載や、市の総合観光パンフレットにも広告を掲載している。	市観光ポータルサイトや総合観光パンフレット等で施設の案内を行っているものの、より積極的なPRが必要である。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	各種チケット販売などを行い、県北方面からの入口にある案内施設として、立ち寄りが促されるよう取り組んでいる。	年々利用者が減少しているため、利用促進のために自施設の特徴を活かした、独自の取り組みが必要である。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	各種ノベルティの配布を行っており、子どもへはナマハゲ折り紙のプレゼントするなどの取り組みを行っている。	ノベルティの配布のほか、Wi-Fiサービスの提供などサービス向上に取り組んでいる。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	法令を遵守し、見回りや定期点検、メンテナンスを実施して、施設機能の安定的利用を維持している。	設置後30年以上経過している施設であるが、日々の適切な管理により機能が維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。	適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	施設内の清掃の徹底、特にトイレの衛生面については、注意を払っている。	施設は老朽化が目立つものの、テナント部分も含め清潔に保たれている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	トイレ内での節水への注意喚起を行い、館内温度の定時測定で管理し、適切な温度によるエコな運営を心掛けている。	光熱水費は、コロナ禍により一時的な変動は見られるものの、例年、ほぼ一定であることから、さらなる省エネに対する取り組みが望まれる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	繁忙期は、職員を増員し閑散期は、少数な配置によりメリハリの効いた効率的な運営に努めている。	原則年中無休の施設として、コロナの感染状況等を鑑みながら、適正な配置がなされている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	「いらっしゃいませ」などの声かけの徹底を確実に実施している。「笑顔のおが」を実践し接客に努めている。		当該年度における当施設に対するクレームはなく、適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	JNTOや東北の観光案内所ネットワーク事業による研修会などへ職員を派遣し接客接遇の向上に努めている。		市が主催する各種研修にも積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられたご意見のうち、お客様への返答を要するものについては、速やかに返答し、市や職員間での共有を図ることとしている。		事務局長及び施設長を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が毎日館内外を開館前・開館中に巡回しチェックしている。		施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	予期せぬ事故に対応するため施設内賠償責任保険に加入するとともに、日々安全な利用促進に配慮している。事故の際には緊急事故連絡体制により各所へ連絡する体制を構築している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	万が一の際にも的確な対応が取れるよう、消防訓練など、法令に沿った訓練を定期的に行っている。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	当会の個人情報の取扱い規定を遵守し対応している。	適正に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支計画による安定的な運営のため、請求・支出日を定め支出の管理に努めている。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	当会の規定により、帳簿、通帳の管理を行っている。通帳は施設には保管せず、当会事務局の金庫に保管している。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温を実施し、記録している。37.5度以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	適切に管理されている。	
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時検温・アルコール消毒を促しているほか、カウンターへアクリル板を設置している	適切に対応している。	
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気の徹底のほか、空気清浄機2台とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	適切に対応している。	

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) <p>県北部から男鹿半島を訪問する際の玄関口となる観光拠点施設として、観光案内と物産販売、飲食サービスを提供している。例年実施し、好評な自主イベントである「収穫感謝祭」は、令和3年度においてもコロナ禍にも関わらず多くの来場者があり、地域の農産物直売所としても認知されている。</p> <p>同施設の客層としては、レストランや直売所があることから地元住民の利用も多く、お客様目線での販売品目やレストランメニューの充実にも趣向をこらしていくことで、さらなる利用拡大に繋がると考えており、アンケートや日々の接遇の中で、利用者の声に耳を傾け運営に活かせるよう努めていく。</p> <p>また、同施設は30年以上が経過し老朽化が課題でもあるが、こまめなメンテナンスや点検等により快適な施設環境を維持している。引き続き観光案内所としての機能を重視しながら、テナント事業者とも協力して管理運営にあたる。</p>	B
所管課評価	(評価欄) <p>観光案内所としての機能と、レストランおよび地場農産物の直売所としての機能を持つことにより、観光客だけでなく地域住民の利用も多いことが特徴として挙げられる。コロナ禍にあっても独自のイベントを実施するなど、認知の拡大や利用者の増加を図るための取り組みを行っているが、利用者は年々減少してきており、特に観光客の立ち寄りに繋げるための取り組みや周知の工夫を図る必要がある。</p> <p>今後の運営に向けて改善が必要な事項はあるものの、指定管理者として当施設を適切に管理・運営していると認められる。</p>	B

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿総合観光案内所	所在地	男鹿市船越一向207-219
指定期間	平成 29 年 4 月 ~ 令和 4 年 4 月	評価対象期間	令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 観光関連情報を提供し、観光の振興及び地域の活性化を図る。</p> <p>【開館日】 平成19年6月1日</p> <p>【規模等】 敷地面積 62,577.32㎡(内、メガソーラー敷地 32,788.70㎡を除く)</p> <p>【施設概要】 鉄骨造平屋建/延床面積 441.25㎡ 付帯: 附属棟・駐車場・なまはげ立像・野外ステージ・露天スペース・憩いの広場(芝生)・花の広場</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(一社)男鹿市観光協会	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川泉台66-1 内 男鹿市役所	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務 ①事業計画書作成 ②収支計画作成、執行 ③事業報告書作成 ④人員配置計画作成 ⑤物品の維持管理 ⑥連絡調整事務 ⑦災害・事故発生時の対応 ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務 ①建物管理 ②工作物管理 ③施設管理 ④植物管理 ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務 ①入館料の設定及び授受 ②利用サービス等 ③その他</p> <p>(4)事務処理業務</p> <p>(5)事業評価業務 ①利用者アンケート調査等 ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケットの開催(5月頃～10月頃)</li> <li>・ステージイベントの開催</li> <li>・なまはげ太鼓の実演、啓発・観光イベントの開催</li> </ul>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	65,482 人	8,693,057 円 (4,940,000)	8,592,444 円	100,613 円
当該年度目標	70,000 人	9,012,613 円 (4,940,000)	9,012,613 円	0 円
当該年度実績	71,701 人	8,757,046 円 (4,940,000)	8,755,049 円	1,997 円
実績等の増減原因	<p>コロナ禍が続く中、各種地域支援事業(観光プレミアムパスポート発売、地域共通商品券、船越飲食券)の販売窓口として事業に協力することにより、観光客や市民の認知向上及び施設利用率の向上に寄与することが出来た。</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>来年度は引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、行動制限の緩和が見込まれていることから、コロナ禍前の令和元年度と同規模で設定している。また、安定した施設運営を図るため、達成度や目標値を設定し運営の安定化を図っている。</p>			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	当施設では男鹿なび・メール及びアンケートにより、お客様の声を収集しているが、当該年度に当施設へ寄せられた苦情はなかったことから利用者の満足度は平均以上であると考えられる。
利用者アンケートの内容	①利用日時 ②性別 ③年齢 ④職業 ⑤利用目的 ⑥利用回数 ⑦トレイ清掃について ⑧観光案内について ⑨喫茶コーナーについて ⑩自由記載 アンケート調査表を店内に配置し、積極的に声掛けするとともに、お客様の声に応える体制を維持し、お客様の満足度アップにつながる運営を念頭に運営している。

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			B		A
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	観光情報の発信、観光案内の充実を図り、情 報の一元化による公平な案内に努め、公共施設 運営者としての自覚をもった運営を図っている。		当市の入口にある観光案内施設として、観光 情報発信を適切に行い、観光振興に寄与してい る。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	イベント時や繁忙期の時間延長などによるお客 様目線での営業形態により運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	条例・規則などを遵守しお客様の安全と施設の 管理に努めている。		適正に行われている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	花の広場へのひまわりなどの花植を行い、ボラ ンティアの協力の下で整備している。		市や他の観光施設とも適切な協力関係が保た れており、ボランティアとの連携も図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	野外コンサートや地元出店者によるフリーマー ケットの開催、また、なまはげ太鼓の実演などを 積極的に実施し施設機能をアピールしている。		市民等の参加によるイベントやフリーマーケッ トを実施し、積極的に施設の活用を図っている が、さらなる利用者の拡大のための自主事業の 実施が必要である。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	巨大なマハゲ立像を核として、取材受入や撮 影協力に対応しPRを行うとともに、各種団体が 行う市民への啓発キャンペーン事業や連携事業も 実施している。また、市観光情報ポータルサイ トへの情報掲載や、市の総合観光パンフレット にも広告を掲載している。		市観光ポータルサイトや総合観光パンフレット 等で施設の案内を行っているものの、施設の特 徴を活かした、より積極的なPRが必要である。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	コロナ禍の中で感染リスクの有無を見極め、イ ベントを計画し実施している。		GWや夏休み時期等の、いわゆる繁忙期にお ける利用促進に係るイベントは実施しているも の、男鹿の玄関口として通年を通して利用者 を確保するためには、閑散期での取り組みも望 まれる。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	各種ノベルティの配布を行い、子どもへはナ マハゲ折り紙や風船などのプレゼントなどの取 組みを行っている。		お土産購入者にはオリジナルの紙袋を用意し たり、キャッシュレスサービスを導入しており、さ らに、Wi-Fiサービスの提供やスマートフォンの無 料充電コーナーの設置など、利便性向上にも取 り組んでいる。	
3 効率的な管理			A		B
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	法令を遵守し定期的なメンテナンスの実施と点 検を実施して、施設機能の安定的利用を維持。		設置後10年以上経過している施設であるが、 日々の適切な管理により良好に維持されてい る。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品台帳に基づき適切に管理している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	コロナ対策として、定期的な換気や空気清浄機 の活用による環境の維持を徹底しているとも に、特に施設内の清掃やトイレの衛生面につ いては、注意を払っている。		施設内は、テナント部分も含め清潔に保たれて いる。特にトイレは清潔に保たれており、館外も 敷地内に季節の花を植えるなど、美化に努めて いる。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の 抑制など省エネ対策に取り組んでいる か	トイレ内へ節水への注意喚起を行い、館内温 度の定時測定で管理し、適切な温度によるエコ な運営を心掛けている。		光熱水費は、コロナ禍により一時的な変動は見 られるものの、例年、ほぼ一定であることから、さ らなる省エネに対する取り組みが望まれる。	



4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	繁忙期は、職員を増員し閑散期は適正な人数での配置によりメリハリの効いた効率的な運営に努めている。	原則年中無休の施設として、コロナの感染状況等を鑑みながら、適正な配置がなされている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	「いらっしゃいませ」などの声かけの徹底を確実に実施している。「笑顔のおが」を実践し接客に努めている。		当該年度における当施設に対するクレームはなく、適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	JNTOや東北の観光案内所ネットワーク事業による研修会などへ職員を派遣し接客接遇の向上に努めている。		市が主催する各種研修にも積極的に参加している。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	寄せられたご意見のうち、お客様への返答を要するものについては、速やかに返答し、市や職員間での共有を図ることとしている。		事務局長及び施設長を中心に連絡体制が確立されている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が毎日館内外を開館前・開館中に巡回しチェックしている。施設内の物品の配置など、バリアフリーの観点も考慮し事故防止に努めている。		施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	予期せぬ事故に対応するため施設内賠償責任保険に加入するとともに、日々安全な利用促進に配慮している。事故の際には緊急事故連絡体制により各所へ連絡する体制を構築している。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	万が一の際にも的確な対応が取れるよう、消防訓練など、法令に沿った訓練を定期的に行っている。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	当会の個人情報の取扱い規定を遵守し対応している。	適正に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支計画による安定的な運営のため、請求・支出日を定め支出の管理に努めている。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	当会の規定により、帳簿、通帳の管理を行っている。通帳は施設には保管せず、当会事務局の金庫に保管し、複数の職員による経理作業で適切に行っている。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温を実施し、記録している。37.5度以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	自社の判断で早々に対応しており、他施設の手本となっている。	
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時検温・アルコール消毒を促しているほか、カウンターへビニールシートを設置している。	適切に対応している。	
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気の徹底のほか、空気清浄機2台とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	適切に対応している。	

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 男鹿半島の玄関口に位置する施設として、観光案内機能の充実のほか、市の各種事業の窓口機能や、各種団体が実施する啓発活動等への協力など、公の施設としての利用促進を意識した運営を心がけている。また、館内で営業しているテナント事業者とも連携し、物販やメニューの充実を図ることで、収益力向上に向けて積極的な事業運営に繋げている。さらに施設の最大の特徴でありランドマークでもある、巨大ナマハゲ立像を核として報道機関の取材受入等を積極的に行うことで、「男鹿のナマハゲ」を最大限活用した男鹿半島全体のプロモーションと施設自体の魅力発信を強化する。
B	
所管課評価	(評価欄) 男鹿半島の玄関口にある観光案内施設として、案内業務および情報発信を行い、利用者の利便性向上を図りながら運営が行われている。また、観光案内機能の質を保ちつつ、お土産等の販売を行い収益の確保に向けても積極的に取り組んでいる。 施設のランドマークとしても機能しているなまはげ立像はフォトスポットとしても有名であるが、そのほかにも敷地内には野外ステージやイベントスペースを有していることから、今後はこれらを積極的に活用することで、新たな利用者層の獲得を図る必要がある。 今後の運営に向けて改善が必要な事項はあるものの、指定管理者として当施設を適切に管理・運営していると認められる。
A	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	観光課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿温泉交流会館五風	所在地	男鹿市北浦湯本草木原21-2
指定期間	平成 30 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	評価対象期間	令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月
施設概要	<p>【設置目的】 伝統芸能や各種イベントの開催により、男鹿温泉郷の更なる魅力の向上に努め、観光の振興及び地域の活性化を図る。</p> <p>【開館日】 平成19年7月1日</p> <p>【規模等】 敷地面積 1,720.21㎡</p> <p>【施設概要】 鉄骨造2階建/延床面積812.86㎡ 付帯: 駐車場・歩行者用道路・足湯・市場スペース・モニュメント</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿温泉郷協同組合	選定方法	選定委員会
	所在地	秋田県男鹿市北浦湯本草木原21-2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>(1)管理運営業務            ①事業計画書作成      ②収支計画作成、執行      ③事業報告書作成            ④人員配置計画作成      ⑤物品の維持管理      ⑥連絡調整事務      ⑦災害・事故発生時の対応            ⑧期間終了後の引継ぎ</p> <p>(2)施設整備維持管理業務            ①建物管理      ②工作物管理      ③施設管理      ④植物管理      ⑤安全管理</p> <p>(3)企画運営業務            ①入館料の設定及び授受      ②利用サービス等      ③その他</p> <p>(4)事務処理業務            (5)事業評価業務            ①利用者アンケート調査等      ②施設管理運営状況について自己評価を行い検証結果シート提出</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五風なまはげ太鼓ライブの公演のほか、各種手作り体験講座の開設。</li> <li>・冬季誘客イベント「体感！冬のナマハゲ！」の開催。</li> <li>・e-Bikeレンタサイクル事業の受託。</li> </ul>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	17,584 人	12,585,213 円 (1,922,000)	16,932,865 円	(4,347,652) 円
当該年度目標	16,000 人	19,629,680 円 (1,922,000)	19,629,680 円	0 円
当該年度実績	15,261 人	20,409,332 円 (1,922,000)	20,409,332 円	0 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大により、特に団体の利用者が減少した。令和3年度の温泉郷宿泊客は県内在住者が主で、ナマハゲ太鼓に対する需要が弱かったため。			
来年度の目標設定の考え方	来年度は行動制限の緩和が見込まれているものの、主力となる団体旅行の回復にまだ時間がかかると想定されることから、コロナ禍前の令和元年度の70%程度を目指し、施設稼働の通常化を目指す。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	総合的な満足度では【とても満足83%】【満足17%】と満足が全体の9割を占めている。スタッフの対応についても97%が満足との回答となっている。
利用者アンケートの内容	年齢、性別、発地等の基本情報の他、接客及び内容等の評価

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			B		A
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	観光課と連携し運営し、さらに管理者の特性も活かしながら運営している。		「男鹿のナマハゲ」を核とした手作り体験やなまはげ太鼓により、男鹿温泉郷の魅力向上に寄与している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	制限、制約を設けず運営している。		適正に運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	左記に基づき、適正に業務を行っている。		適正に行われている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市観光協会DMO推進室や各観光施設、また、男鹿温泉郷各施設と連携を図っている。		市や男鹿市観光協会とも適切な協力関係が保たれており、他の観光施設等とも連携が図られている。また、温泉郷の中核施設として、温泉郷各宿泊施設や、なまはげ太鼓団体の恩荷とも連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	なまはげ太鼓の公演や手作り工芸体験など、郷土を意識した活動を行っている。		男鹿温泉郷の宿泊者を中心に、なまはげ太鼓の公演が常設されており、また、「男鹿のナマハゲ」を核とした手作り体験など、特性を十分に活かした自主事業が実施されている。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	毎年度チラシ制作に加え、定期的にHPもリニューアルするなどしている。		WEBサイトや各種印刷物などにより、PRが図られている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	HP等を活用し、イベントや自主企画を広く告知しているほか、温泉郷の各ホテルへポスターを掲示することで、利用促進を図っている。		市や関係施設と教育旅行誘致を行うだけでなく、自主的な営業展開も図っており、コロナ禍で制約があるものの、成果を挙げている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	人的サービスのほか設備面にも配慮している。キャッシュレスを導入し、無料Wi-Fi環境整備等も実施している。		利用者目線での利便性向上に対して積極的に取り組んでおり、同時に観光協会のレンタサイクル事業の受託など、サービス向上に取り組んでいる。	
3 効率的な管理			B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・機械設備等定期的に巡回チェックし、不具合があるときは速やかに対応している。		設置後15年以上経過している施設であるが、日々の適切な管理により良好に維持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品は備品台帳に基づき、適切に管理し、利用状況は利用申請書等により把握している。		適切に管理されている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	日々の清掃を通して清潔に維持している。		館内はトイレも含め清潔に保たれており、館外も細めに清掃するなど、美化に努めている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	非利用時の節電等を徹底している。		光熱水費は、コロナ禍により一時的な変動は見られるものの、例年、ほぼ一定であることから、さらなる省エネに対する取り組みが望まれる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	スケジュール管理を徹底している。	原則年中無休の施設として、コロナの感染状況等を鑑みながら、適正な配置がなされている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	ミーティング等を通して目標や課題の共有を図ってる。	当該年度における当施設に対するクレームはなく、適切な接遇が行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	社外での研修機会を積極的に利用している。	市や市観光協会が主催する各種研修には積極的に参加している。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	ミーティング等を通して目標や課題の共有を図ってる。	施設長を中心に連絡体制が確立されている。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	点検作業を通じて事故防止に努めている。	施設の状況確認も含め、適切に管理が行われており、施設に不備が生じた際には、速やかに修繕を行うとともに、当課への連絡も適切に行われている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	避難誘導等における職員間の取り決めがあり、定期的な訓練により有事に対応できるようにしている。	これまで事故等はないものの、準備体制は適切に整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年に2回、実施している。	適切に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報記載の書類は鍵付き書庫等で保管。不要になったものはシュレッターで廃棄処分している。	適切に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本は計画内運用だが、収入が月次で計画を下回った際は費用もバランスを見ながら随時修正している。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書・帳簿類はバインダーに整理し決められた場所に保管し、通帳は施錠できる場所に保管している。	適切に管理されている。	
5 その他【新型コロナウイルス対応】			B	C
①コロナ対策	・従業員の体調管理・感染予防	毎朝検温実施・記録。37.5℃以上は出勤禁止とし、マスク着用・手洗い・うがいを頻繁に実施するようにしている。	自社の判断で早々に対応しており、他施設の手本となっている。	
②コロナ対策	・来館者への感染予防	入館時検温・アルコール消毒を促しているほか、カウンターへアクリル板を設置している。また、座席の間引きや消毒の徹底を行っている。	自社の判断で体温検知カメラを早期に導入するなど、独自に取り組んでおり、他施設の手本となっている。	
③コロナ対策	・来館者・従業員予防	窓の開放・換気の徹底のほか、空気清浄機2台とアルコール手洗い消毒機器を導入した。	積極的な予防体制を構築している。	

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) 新型コロナウイルスの感染拡大により、特に春期から夏期にかけて来場者が減少し、非常に厳しい状況に陥った。経費削減と雇用の確保を両立させながら施設の維持管理にも努めるとともに、ニューノーマルを意識した収益事業に取り組むなど運営の立て直しを図った。 通年では前年度よりは施設稼働も向上し、スタッフのモチベーションや施設本体の維持管理も保たれサービスの低下は防げており、施設の経年劣化は多少見受けられるものの、可能な範囲で自己で修繕も行っているため、概ね管理状況も良好と判断している。
B	
所管課評価	(評価欄) 前年度に引き続きコロナ禍により影響を受けているものの、地元のなまはげ太鼓団体と連携して、当地の特性を最大限に活かしたなまはげ太鼓ライブの常設公演を行うことで、男鹿温泉郷の宿泊者への満足度向上と収益の確保に貢献している。また、公演を契機に認知度が高まることで、市内外での各種イベント等へのなまはげ太鼓の派遣にも繋がっており、県内外に多くのファンを作っている。こうしてなまはげ太鼓は教育旅行や団体旅行を中心に、魅力ある誘客コンテンツの一角に成長している。 このほか、「男鹿のナマハゲ」を核とした手作り体験や、なまはげ柴灯まつりに合わせた自主イベントなどを積極的に展開しており、施設の有効活用が図られているが、これまで目立った活用実績のない、市場スペースの利活用が課題となっている。 今後の運営に向けて改善が必要な事項はあるものの、指定管理者として当施設を適切に管理・運営していると認められる。
B	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市シルバーワークプラザ	所在地	男鹿市船川港金川姫ヶ沢152-2
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	男鹿市シルバーワークプラザ 住所 男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2 竣工 平成5年3月 敷地面積 1,457.00m <sup>2</sup> 建築面積 285.70m <sup>2</sup> 延床面積 285.70m <sup>2</sup>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	高齢者の福祉増進と個々の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、就業機会の確保に関する様々な研修や諸会議の開催をはじめ、高齢者の交流・教養文化の向上にも役立つ施設の管理運営にあたる。			
自主事業の実施状況	シルバー人材センター事業遂行のため、庭木剪定や塗装などの就業前安全講習会、各種委員会、地域班長会議、入会説明会等を実施した。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	105 人	2,019,065 円 (0)	2,019,065 円	0 円
当該年度目標	200 人	1,796,000 円 (0)	1,796,000 円	0 円
当該年度実績	443 人	2,044,360 円 (0)	2,044,360 円	0 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大が落ち着き、シルバーワークプラザを会場とした研修会や会議等の回数が増加したため、利用者数が増加した。			
来年度の目標設定の考え方	令和4年度は、新型コロナウイルスの感染が収束するものと想定し、さらなる利用者の増を図る。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	利用者満足度は良好だが、建築後30年が経過し、施設の老朽化が目立つ。
利用者アンケートの内容	利用者アンケートは実施していない。

#### 5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。	施設の設置目的を理解した運営を行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。	平等な利用が保たれている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		B
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。	適正に業務を行っている。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	市地域包括支援センターや商工会などと連携を取りながら事業を進めた。	関係機関との連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	庭木剪定や塗装などの就業前研修、地域班長会議、入会説明会等を実施した。	会員の技術向上のための研修を行うなど、特性を生かした自主事業を実施している。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	シルバー人材センターホームページ等で施設情報をPRした。	PRを行い周知している。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	行事予定等をPRし、施設の利用促進に向けた取組を行った。	施設の利用促進に向けた取組を行っている。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	常に利用者の声を把握し、サービス向上に努めた。	サービス向上の取組を行っている。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、常に所管課と連絡を取り、協議の上適切に管理した。	適切に管理されており、建築からかなりの年月が経過しているが、良好な状態が保たれている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握している。	備品台帳を整備しており、適切に把握している。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	シルバー人材センター職員が清掃し、常に清潔な状況の維持に努めた。	清潔な状態が保たれている。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。	施設の光熱水費の抑制に努めている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	施設の管理運営については、職員1名を配置した。ただし、研修会や会議開催時等は職員を増員するなど柔軟な体制を整えた。	状況に応じ職員の配置を変えるなど、適正な人員配置となるよう努めている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	会員からの苦情等もなく、適切に対応できている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	朝礼や打合せの際、接遇等の検証を行い、資質の向上に努めた。	更なる資質向上に努め、必要に応じ外部講師からの研修の実施するなど、検討を要する。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	例年、地域班長会議等で、意見や苦情の把握に努めた。	会議時だけでなく、随時意見を言える体制を整備してするよう検討が必要と考えられる。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	利用者の状況を把握し、事故防止に努めている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	マニュアルを整備し事故や災害時に備えている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回、防災避難訓練を実施した。	防災避難訓練を実施している。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については細心の注意を払い管理した。	個人情報を適正に管理しているが、個人情報管理規定の整備も検討が必要と考えられる。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については、予算に基づき適切に執行した。	予算に基づき適切に執行している。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は適切に管理した。	管理を適切に行っている。
5 その他【      】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
B	新型コロナウイルスの感染拡大に落ち着き、シルバーワークプラザを会場とした会議等の開催回数は増加し、概ね適切な管理が行われたと考えている。
所管課 評価	(評価欄)
B	施設の設置目的に合った管理、運営がされている。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市複合観光施設	所在地	男鹿市船川港船川字新浜町1-19
指定期間	平成30年4月～令和5年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男鹿国定公園の指定を受けた貴重な自然景観やジオパーク、国指定無形民俗文化財「男鹿のナマハゲ」等、多彩な観光資源を有する「男鹿半島」に立地。</li> <li>・JR男鹿線の終着駅「男鹿駅」に近接した立地的特徴を生かし、鉄道・港湾と連携し、国内外からの観光誘客を強化。</li> <li>・半島周遊観光のゲートウェイ、広域周遊観光の拠点として、多様な周遊形態に対応した情報を広く発信。</li> <li>・男鹿半島特産の海産物、農産物をはじめとした特色ある地域食材の販売・提供、特産品の開発により、6次産業化を推進。</li> <li>・男鹿市初の道の駅、みなとオアシスの拠点施設。</li> </ul>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	株式会社おが	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港船川字新浜町1番地19	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>当社は道の駅が果たすべき「休憩機能」「情報発信機能」「地域との連携機能」を、地元市民や男鹿を訪れた多数の関係人口に提供するとともに、施設の中核を担う物産館では、地場の新鮮な野菜や鮮魚等を販売し、地元食資源の魅力を伝え、生活インフラとしての役割を果たしてまいりました。コロナ禍において関係人口に変化がみられる中、感染対策を施して出品者や行政、地域の各団体と連携しながら集客イベントや各種催しを開催し、来場者のおもてなしに努めました。当駅では感染対策として消毒液や自動体温測定器を設置し、混雑時には入場制限を行い、お客様や出品者、従業員等から罹患者を出さないよう細心の注意を払いながら営業を続けてまいりました。客層は首都圏等の県外観光客から隣県、地元市民や近隣市町村へと移り、購買ニーズも土産品が減り生鮮品が増える等の変化がありました。年間の来場者数は458,038人(前年度443,999人)で前年度を超え、感染拡大が続くコロナ禍ではありましたが男鹿市への関係人口を増やし、地域経済に貢献することが出来たと考えております。直売所を利用する品目別登録者数は、235名から266名に増加したほか、農水産品の出品点数が前年度比で16千点増(前年度比105%)、出品者の売上額は300万円超が25名(前年度23名)、1,000万円超が3名(前年度2名)となっています。</p>			
自主事業の実施状況	<p>昨年度の課題である物産館の販売促進と収益力を向上させるため、直売所経営の要である出品登録者及び出品数量の確保に注力してまいりました。出品者には社員が出品催促の声掛けや電子メールを繰り返し行うことで「売れる」楽しさと「儲かる」喜びを享受してもらい、出品物の確保を図ってまいりました。また、優れた鮮度や希少性が高い商品には、適正な価格が設定されるよう助言を行い出品者の利益確保に努めました。商品開発では、当社オリジナル商品である「梨コンポート」の原材料を、潟上産から男鹿産へ切り替え、「なまはげサイダー・しょっつる味」は、“梨味”に切り替えるなど物産館の販売促進に努め、売上目標である3億2,680万円に迫る3億1,986万円の実績を計上することが出来ました。繁忙期である夏と閑散期の冬では、売上高及び来客者数が最大で4倍もの格差があり、上半期の稼ぎを僅か3ヶ月で失うなど大きな課題となっています。こうした冬期間の経営改善策の1つとして、営業時間の短縮テストを行い約30万円の経費削減に成功しました。また、出品者部会を通じて、天候や季節による品不足への対策や、道の駅交流事業による仕入、鰯の販売方法、農水産品の仕入コーナーの開設等を協議し、直売所の経営改善に取り組みました。指定管理料は施設設備の保守管理費及び24時間休憩所・トイレ、館内空調等の光熱費等に活用しました。</p>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	443,999 人	99,203,971 円 (7,900,000)	99,026,537 円	177,434 円
当該年度目標	450,000 人	127,009,000 円 (7,900,000)	124,506,000 円	2,503,000 円
当該年度実績	458,038 人	105,864,478 円 (7,900,000)	106,602,052 円	(737,574) 円
実績等の増減原因	<p>人員削減による労働力不足や時化による品不足等から、販売機会の喪失が認められます。人件費は削減できたものの超過勤務が増える等、労働環境が悪化している事や、燃料費高騰などによる施設維持費が増加したため内部留保が確保できない状態にあります。</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>労働環境の悪化と販売機会の喪失を減らす為に、職員の計画的な採用を行い、経営力の強化に努めます。また、物価高騰の煽りを受けて支出の増加が見込まれますが、今後、感染症対策緩和による来館者の増加や各種自主事業実施により、単年度黒字を目標とします。</p>			



4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	農水産品の出品数が増加したことや鮮魚不足時に茹で蟹等の加工品を代替陳列したほか、道の駅交流事業を通じた仕入商品を提供するなど、空いている棚を有効活用することで来館者の満足度は向上しております。
利用者アンケートの内容	道の駅おが(物産館・テナント・24時間トイレ等の公共設備)の利便性及びスタッフの接客サービスや施設周辺の環境美化について自由回答

5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		C		C
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	的確に理解し運営している	概ね理解し運営している	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	施設の特性上、平等が必ずしも保たれるものではないが、利用者から不満が無いよう運営している	利用者にとって概ね平等な運営がされている	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		C		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	協定書などに定められた業務を適正に行っている	概ね適正に行っている	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	関係機関と連携を図っている	関係機関との連携をさらに深め、今以上に地域から応援される施設を目指してほしい	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	新鮮な農水産物に焦点を当てた自主事業を実施している	施設の特性を生かした自主事業に取り組んでいる	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	ホームページで鮮魚の入荷状況などを毎日更新しているほか、各種イベントの情報も提供し、積極的にPRを行っている	自主事業はもっと広く周知できるよう、周知方法を検討するよう求める	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	出品者の部会を設置し、意見交換を行っているほか、新規参入を増やすため、商品の集荷を行うなど、利用促進に向けた取組を行っている	取り組みはすばらしいので、効果的となるよう実施している内容を地域に周知するよう求める	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	来館者のアンケートを基に、社内会議でサービス向上に繋がる取組を検討し、実施している	定期的に話し合うなどサービス向上に取り組んでいる	
3 効率的な管理		C		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	各種保守点検契約などを締結し、良好な施設機能を保持している	前年度指摘事項だった施設保守点検を改善し、良好な施設機能を保持している	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳を整理し、維持管理が必要な備品は専門業者と契約するなど適切に行っている	備品台帳を整理し、維持管理が必要な備品は専門業者と契約するなど適切に行っている	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	施設を清潔に保持するため、清掃業者と業務契約を締結しているほか、職員による清掃を毎日行い、清潔に保っている	屋内は清潔に保たれているが、屋外にも気を配り、今以上に清潔感のある施設を目指してほしい	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	経費削減の観点からも節水、節電を心掛けるなど省エネに取り組んでいる	会社全体で省エネに取り組んでいる	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	人員が不足している	人員不足が直近の課題となっている施設の適正な管理運営に必要な体制を構築するよう求める
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	毎朝接遇の確認を行っており、来場者アンケートでも一定の評価があったことから適切に対応できている	毎朝接遇の確認を行っており、来場者アンケートでも一定の評価があったことから適切である
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	毎年、他の道の駅視察や職員資質向上に繋がる研修を受講している	独自の研修を行っている
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	毎月実施している社内会議(チーフ会議)で意見や苦情の対応方法を協議する仕組みを整えている	人材不足や体制整備に課題があり、意見や苦情に対してすべて対応できてはいないが、出来る範囲で対応する仕組みは整っている
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	警備担当職員を配置するなど、常に取り組んでいる	通年、警備員や職員で事故防止に努めているほか、冬期間の除雪時など安全確保に取り組んでいる
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	独自のマニュアルを整備している	独自のマニュアルを整備しているほか、避難場所であるNTTビルの鍵を預かるなど適切に対応できる体制が整っている
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	独自のマニュアルに基づき、最低でも年に1回は行っている	防災、防犯、交通訓練のほか、啓発活動にも協力しており、定期的の実施している
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	金庫室や施錠可能なキャビネットを使用し、個人情報保護に努めている	出品者やお客様の個人情報を適正に取り扱っている
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	大きな変更もなく、概ね適正に行っている	概ね適正に行っている
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	税理士に依頼し、適切に管理している	税理士や社労士と契約しているなど、適切に管理している
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄) コロナ禍にあっても物産館の売上額及び直売所の出品者数は増加傾向にあります。収益面では単年度黒字が計上できなかったものの、本業の利益である営業利益において、前年度より損失額を610万円ほど減らすことが出来ており収益力は大きく改善しています。年間45万人を超えるお客様に来場いただき、アフターコロナでは50万人超が訪れる道の駅になると考えます。清潔で快適、感染防止対策が施された安全安心な施設を保持しながら、今後も地域産業の振興と男鹿半島を周遊する際のプラットフォームとしての役割を果たし、更なる集客を図っていきます。
C	
所管課評価	(評価欄) 令和3年度は、施設維持に対して改善がなされるなど、指定管理者として概ね評価できるが、次年度以降アフターコロナにより、来場者が増えることが予想される中で、指定管理者として施設維持に必要な人員確保や業務委託の精査が必要であると考えます。 物産館の運営については、人員もしくは人材不足により、売り上げ向上に繋がる施策が少なく、令和4年度以降の新規自主事業による巻き返しに期待したい。 半島周遊プラットフォームとしての役割を果たすために、必要な連携を整備するよう求める。
C	

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	男鹿まるごと売込課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿駅周辺広場	所在地	男鹿市船川港船川字新浜町地内
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>設置理念は「男鹿駅周辺を、人々が集い、交流する場として広く市民に供するとともに、新たな事業展開を目指すもの等を支援することにより、地域経済の発展及び新たな活力の創出を図る。」</p> <p>主な施設は、テナントの入った商工業チャレンジ施設1及び2、出店イベント等行うチャレンジ広場、憩いの場としての芝生わんぱく広場・大型複合遊具、その他に多目的広場やトラフィックターミナル、市民駐車場がある。</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿駅周辺広場賑いづくり共同事業体	選定方法	選定委員会
	所在地	秋田市南通亀の町4番地15	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>【運営】 利用申請受付業務やテナントスペース活用業務。</p> <p>【維持管理】 建築物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、備品管理業務、保安警備業務、環境衛生管理業務、廃棄物処理業務、植栽等施工・管理業務。</p>			
自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商工業チャレンジ施設1</li> <li>・ホットドッグカフェを運営</li> <li>○商工業チャレンジ施設2</li> <li>・稲とアガベ株式会社がクラフト酒の醸造所を運営</li> <li>○チャレンジ広場</li> <li>・計6回のイベントを企画・運営(新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて中止したイベントは内2回)</li> <li>○芝生わんぱく広場</li> <li>・無料貸出し遊具を用意し子供を中心に貸出し事業を実施した</li> </ul>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	0 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	20,400 人	24,765,000 円 (11,500,000)	24,765,000 円	0 円
当該年度実績	15,177 人	23,573,779 円 (11,500,000)	23,799,556 円	(225,777) 円
実績等の増減原因	<p>開業初年度であり、過去の実績との比較はできないが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントの自粛が相次ぎ、集客に苦戦したほか、認知度がまだ低いなどの理由から、目標数と実績数の差が出たと分析している。</p> <p>※目標値・実績値は令和3年10月-令和4年3月</p>			
来年度の目標設定の考え方	<p>施設の運用が始まった令和3年度は、少しずつ施設が市民に認知されていった。次年度は広場の存在を周知することで、男鹿のオンシーズンから来場者の増加が見込まれる。出店者については、HPやSNS、市の広報等を活用し広く募集するほか、地域事業者や過去に出店した方にも声をかけて増加を図っていく。</p>			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	テナントの2店については、雑誌やテレビ等、メディアでの紹介もあり、認知度は徐々に上がってきており、リピーターやファンも付き始めている。出店者の満足度については、施設の認知度がまだ低く、客数や売上が伸びなかったと意見があったため、施設やイベント時のPRに注力し、出店者の満足度向上を図っていく。市の広報に定期的に記事を掲載したことにより、男鹿市内の方が多く来場した。また、周辺地域に大型複合遊具があまり無いことと、無料遊具の貸出しを実施したため、親子連れに人気があり好評だった。
利用者アンケートの内容	自主イベント開催時に、出店者へアンケートを実施。出店の満足度や客数・売上についての調査を実施。

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針			C		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	出店や広場の利用について、規約やマニュアルを定めた。		広場の利用に関する規約やマニュアルを市と協議しながら定めており、施設の設置目的を概ね理解している。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	上記の規約やマニュアルに沿って運営している。		規約に基づき運営しており利用者が平等に利用できるよう運営している。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	一部、テントの運用や芝の管理について適正な業務が行えなかった。		広場の賑わいづくりに資する業務や、施設の管理に関する業務について、適正に行えない部分があった。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	商工会や地域の事業者と連携したイベントを実施した。		イベント実施の際に商工会や、地域の事業者と連携した取り組みを実施したが、今以上に地域関係機関と連携した取組を実施してほしい。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	テナント事業についてはギバサなどを使用した男鹿産のメニューを開発。出店については男鹿を拠点に活動・起業する事業者の参入を促す。		男鹿産の食材を使用したメニューの開発を行ったほか、地域の事業者の主催するイベント会場としても活用され、特性を活かした事業を実施している。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	Twitter/Instagram/Facebook等のSNSを活用し、積極的に告知を行った。 毎月広報おがの紙面を1ページ作成し、まずは男鹿市民の認知度向上を目指した。イベント開催時には、県の記者クラブへプレスリリースも行った。		専用HPやSNSアカウントを制作し施設情報やイベント情報の発信を行った。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	施設や設備の施工が順次行われていたことや、新型コロナウイルス感染拡大を受けてイベントの中止もあり、利用促進の効果は思うように得られなかった。自主テナント事業のホットドッグや軽食の販売については、遊具もある公園・駅としての場所性や客層からみて、気軽に利用されやすい点は効果があると見ている。出店利用については、広報おがで出店の呼び込みやイベントでの出店誘致を行った。電源や水道の使用の手軽さや出店料を売上の10%に設定するなど、気軽にチャレンジできる環境になっている。来場者について、遊具やゴザの無料貸出しを行い、広場で遊べ、くつろげるイメージの定着を図った。		市報で毎月情報発信することにより、市民への認知度を図ることができたが、SNSでの情報発信については、閲覧者が限られていることもあり、施設の認知度を上げる取組にあまり効果はなかった。 HPが完成したため、今後はHPとSNSを有効に活用して施設の利用促進につながる取組を行っていただきたい。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	アンケート結果を受けて、可能なところから改善を進めた。		出店者へのアンケート結果を施設運営に反映するよう努力している。	
3 効率的な管理			D		D
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	建物・設備については新しいということもあり、安全性・機能面共に良好であるが、テントの運用については課題がある。		適切に管理されていた。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	適切に行った。		強風時にテントを張ったまま、横幕が破損する事例があり、備品運用について適切な管理を行うよう求める。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	毎日の清掃点検を行った。		舗装面やインターロッキング部分については、毎日清掃されており、清潔な状態が保たれていたが、芝生や砂利の部分は雑草が伸びている状態が見受けられた。	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	必要に応じて使用。使用しない期間についてはブレーカーを落とす・元栓を締めるなど省エネに取り組んだ。		適切に取り組んでいた。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	テントの運用やイベント対応について、人員確保が難しく、指定管理事業と自主事業のスタッフが協力しながら運営した。	イベント時のテント運用に人員が足りていない場面があった。また、施設休業時の対応について課題がある。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	電話や問い合わせに対して、丁寧にわかりやすく伝えるよう心がけた。	利用者からの問合せに対応できており、特に大きなクレーム等は無かった。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	コロナ禍につき研修受け入れ口が難しいこともあり、道の駅オガレや飲食店の方と情報交換を行いサービス向上を目指した。	研修等の実施は無かった。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	現場担当で処理に困ったものに関して、随時、上司へ報告・相談し、対応を検討した。	意見や苦情があった際に市へも情報共有が図られており、適切に対応していた。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	毎日の点検を行い、ルール違反の危険行為について注意喚起を行った。	広場の混雑時の貸出遊具の運用について検討を求める。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急連絡網の作成、AEDや消火器の設置を適切に行った。	緊急時の連絡体制ができていますが、施設休業時の対応について課題がある。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	防災訓練等は実施していないが、災害発生時のマニュアルを整備しており、マニュアルに基づいて対応することとしている。	防災訓練の実施については、今後検討するよう求める。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報は適切に取り扱い、他の目的に使用せず、持ち出さないよう対応している。	個人情報の適切な管理に努めている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	適切に行った。	指定管理初年度のため、当初の計画に無い支出もあったが、市と協議しながら適切な執行を行った。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行った。	適切に管理している。
5 その他【       】			
①	・		
②	・		
③	・		

#### 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
C	初年度は、広場内の施設が順次開設していく中で運営を開始し、運営しながら随時問題に対処することが多かった。特に、テントの運用と冬場の除雪、賑わい創出のための広場の周知が足りていなかった点が今後の課題である。思うようにイベントを打てずに賑わい創出に苦戦したが、自主事業でカフェの運営を始めてからは、認知され始めて徐々に広場で過ごす人が増えてきた。
所管課評価	(評価欄)
C	施設が随時供用開始になったため、施設の運営体制が整うまで時間を要し、コロナ禍によりイベントを実施することができず、思うように賑わいの創出を図ることができなかった。 施設の運営体制は整いつつあるものの、管理についての人員体制や、冬季の除雪対応等の対応で課題があるため、次年度は引き続き賑わいづくりにつながる取組を実施しながら、訪れた方々が快適に過ごせるように施設の管理を行っていただきたい。 また、チャレンジする者を支援する目的の施設でもあるため、新規で起業・創業する者への支援についても取り組んでいただきたい。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	文化スポーツ課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市体育施設等	所在地	男鹿市船川港比詰字大沢田304番地
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	①男鹿市総合体育館 ②弓道場 ③陸上競技場 ④野球場 ⑤球技場 ⑥テニスコート ⑦総合運動公園(公園部分) ⑧若美総合体育館 ⑨若美中央公園球場 ⑩管理事務所及び多目的広場 ⑪若美スキー場(ロープリフト含む) ⑫若美球場 ⑬B&G海洋センター体育館 ⑭同プール ⑮健康の広場(金川グラウンド) ⑯市民プール		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿市体協・正和会・むつみJV	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港比詰字大沢田304番地	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	①施設の利用の許可及び利用の制限等に関する業務 ②施設及び設備の維持管理に関する業務 ③施設を活用したスポーツの普及振興に関する業務 ④市民の健康増進に関する業務 ⑤業務計画策定及び報告業務に関する事 ⑥その他市長が特に必要と認める事業の実施に関する事			
自主事業の実施状況	①アクア健康教室(7回) ②短期水泳教室(5回) ③健康スポーツ教室(8回) ④家庭バレーボール大会 ⑤ソフトバレーボール大会 ⑥市民スキー教室 ⑦リハビリステーション事業 ⑧チェアエクササイズ教室 ⑨グラウンドゴルフ大会			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	85,702 人	77,067,848 円 (73,678,000)	73,602,279 円	3,465,569 円
当該年度目標	150,000 人	101,500,000 円 (90,377,000)	101,500,000 円	0 円
当該年度実績	101,312 人	96,283,911 円 (90,377,000)	95,417,642 円	866,269 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市外利用者の制限設定や大会利用の減少			
来年度の目標設定の考え方	新たな健康づくり事業及びトレーニングルームの有効活用等による運動習慣の定着化と賑わいの創出 新型コロナウイルス感染防止等に向けた適切な施設管理による安全安心な施設運営			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	①男鹿総合運動公園の管理運営に関する座談会での確認 ②体育協会の理事会・評議委員会等での意見収集や要望等を把握
利用者アンケートの内容	上記①でのアンケート調査・・・別紙

5 個別検証

検証項目	指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針		B		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	条例及び施行規則等に基づいた運営の実施	施設の設置目的等を的確に理解されているが、 市の方針に沿った取組が不十分である。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	大会利用を除き、2ヶ月前からの申請受付など 平等な利用に配慮	利用者が平等に利用できるよう適正な運営が 行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		B
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	条例等を遵守し、常時仕様書を確認して業務 を適正に実施	条例、規則に基づき適正に業務を行っているが、 経営努力及び自主事業の実施が不十分である。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	むつみ造園土木協力会や体協加盟団体等と 連携	加盟団体等と連携しているが、限定的であり、地 域やボランティアの活用が望まれる。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	若い方・若年層へのトレーニング教室や高齢者 への健康・スポーツ教室を開催	市の健康課題に適した健康教室や夜間帯に 教室を開催した。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	市広報誌、新聞等でのPR実施やホームページ での提供	ホームページをリニューアルし周知がわかりや すくなり施設利用がしやすくなった。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	ホームページでの体育施設空き状況やトレーニング 教室では携帯での空き時間検索が可能	若い世代の継続利用に向け、正和会ではLINE の活用を開始した。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	受付等でのあいさつなど声かけを励行	施設の維持管理は適正に行われているが、おも てなしの意識を高く持った接客や施設運営が必要 である。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	職員による定期巡回と専門業者による保守点 検の実施	予算の範囲内で、建物や設備を適切に管理し ており、安全性を確保している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品については貸出に職員が立会い、利用状 況は毎日把握している	備品の管理、利用状況の把握は適切に行われ ている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	清掃職員を配置し、快適な利用に努めている	清潔な環境が保たれ快適な利用に努めている	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	職員によるこまめな巡回で省エネ対策を実施	光熱水費の節減及び廃棄物抑制等の意識が高 く、環境保全対策に取り組んでいる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力			B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	公園施設には有資格者を配置し、体育施設には資格を有する専任指導職員を配置	人員は、概ね適正に配置されている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	各担当の業務内容を明確化し、定例会議での共通認識を高めている	更なる資質の向上に向けて、外部の研修等の積極的な受講が望まれる。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	有資格者については講習会への積極的な参加を勧め、自己研鑽に努めている	更なる資質の向上に向けて、外部の研修等の積極的な受講が望まれる。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	定例会議において話題とし、対応を検討	アンケートを実施し、その結果から対応を工夫していた。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	巡回等により危険箇所を把握し、速やかな対処を実施	適宜、事故防止や安全な利用に向けて、点検・修繕等が行われている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	整備している	緊急時の対応に向けて、責任者を配置し、体制やマニュアル等が整備されている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年2回の訓練を実施	マニュアル等に基づき防災訓練等が定期的に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	辞令交付式等での適正な取り扱いを指示	利用者等の個人情報保護の重要性を認識しているが、厳重な管理には至っていない。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	公益法人会計基準に順応した会計処理システムを導入	収支計画に基づき、概ね適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	通帳と印鑑を別々の人が管理しているほか、体協独自の監査の実施	文書、帳簿、通帳は整理され、概ね適切に管理されているが電子化など効率化を図る工夫が必要である。	
5 その他【連携・協議】			B	B
①	・JV協議会の開催	毎月1回開催し、月例報告や業務計画等を協議	日程を調整し、協議会を月1回開催し、課題等について情報共有を図った。	
②	・			
③	・			

## 6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVによる指定管理は1年目であったが、実施できなかった行事もあり三者間で連携を取り代替えて対応することができた。</li> <li>・年間を通してコロナ禍の影響が大きく、利用者数は目標値の67.5%にとどまったが、利用料金については96.1%となった。</li> <li>・2年目については、3者合同でイベント等を開催することで、利用者増につなげていきたい。</li> </ul>
所管課評価	(評価欄)
C	<p>施設の維持管理に関しては概ね良好に遂行されている。 光熱水費節約等、環境に配慮した取組みや、コロナ禍においても適切な感染症対策を講じ、関係団体と連携した教室を開催するなど積極的な姿勢が見られた。 課題としては、事務の一元化・見える化を図ることが必要である。情報を共有することで効率化に繋がるため一層の工夫していただきたい。 月1回の協議会では、定期的な開催で課題等について認識の統一を図れた。3者の良好な関係を保ち利用者増に繋げるために、生産性の高い協議会(目的やゴールの明確化、全員が発言、30分のショート協議会など)が必要であると思われる。</p>



# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	文化スポーツ課

## 1 公の施設

施設名称	サンワーク男鹿・男鹿市トレーニングセンター	所在地	男鹿市船川港金川姫ヶ沢158-10
指定期間	令和3年4月～令和6年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	<p>サンワーク男鹿            住所 男鹿市船川港金川字姫ヶ沢158番地10            竣工 平成3年8月8日            敷地面積 7,681.24㎡            建築面積 1,114.08㎡            延床面積 1,121.93㎡            建築構造 RC造一部鉄骨造平屋建</p> <p>男鹿市トレーニングセンター            竣工 平成4年1月4日            敷地面積 サンワーク男鹿敷地内            建築面積 171.50㎡            延床面積 171.50㎡            建築構造 RC造平屋建</p>		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	(公社)男鹿市シルバー人材センター	選定方法	選定委員会
	所在地	男鹿市船川港金川字姫ヶ沢152番地2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	<p>勤労者の様々な研修や諸会議をはじめ、市民の教養・文化の向上に寄与する諸行事、作品展示など、設置目的に合致した施設の管理運営にあたる。</p> <p>また、市民がスポーツに親しむ機会提供、スポーツ教室、スポーツ大会を通して生活の中でのスポーツ実践と健康の維持増進に活用できる施設運営に努める。</p>			
自主事業の実施状況	<p>スポーツ推進員1名を配置し、毎週水曜日にスポーツ教室を開催し、スポーツの普及と市民の健康増進に努めた。</p>			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	25,551 人	9,677,141 円 (8,800,000)	9,675,459 円	1,682 円
当該年度目標	30,000 人	10,007,000 円 (9,100,000)	10,007,000 円	0 円
当該年度実績	24,622 人	9,948,252 円 (9,100,000)	9,945,922 円	2,330 円
実績等の増減原因	新型コロナウイルスの感染予防に努めたものの、1月28日利用者から感染者が出たことにより、1月29日から2月3日までの			
来年度の目標設定の考え方	令和4年度は、新型コロナウイルスの感染が収束するものと想定し、さらなる利用者の増に努める。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	利用者の方には、概ね満足頂いているが、照明やトレーニング機器などの老朽化によりご不便をかけている面がある。
利用者アンケートの内容	例年、利用者懇談会を開催し、意見等を聞き取りしているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染対策のため、懇談会

5 個別検証

検証項目	指定管理者による自己検証	指定管理者自己評価	市(所管課)による検証	所管課評価
1 運営方針		B		B
①平等な利用確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか	所管課と連携を密にし、市の方針や施設の設置目的等に合致した運営を行った。	施設の設置目的等を的確に理解されているが、市の方針に沿った取組が概ね行われている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な運営がなされているか	利用者が平等に利用できるような運営を行った。	利用者が平等に利用できるよう適正な運営が行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		B		C
①法令等の遵守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っているか	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、業務を適正に行った。	適正に業務を遂行している。	
②地域振興への貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携が図られているか	利用者団体や市体育協会等と連携しながら、施設運営を行った。	加盟団体等と連携しているが、限定的であり、利用者増に向けて地域等との連携が望まれる。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施しているか	毎週水曜日、スポーツ教室を実施した。	スポーツ推進員を講師とし、感染対策を講じながら定期的に軽体操教室を実施し、高齢者の体力づくりに務めた。	
③広報活動の実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っているか	毎月、市広報等で自主事業のPRを行った。	施設への掲示、市広報による周知に留まっている。	
④施設の利用促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っているか	行事予定等をPRし、施設の利用促進に向けた取組を行った。	周知の工夫等による新規利用の開拓が望まれる。	
⑤サービスの向上	利用者に対するサービス向上の取組がなされているか	利用者の声の把握に努め、サービス向上を図った。	引き続き、アンケートの実施や目安箱の設置により利用者の要望や課題の見える化を図り、更なるサービス向上が望まれる。	
3 効率的な管理		B		B
①施設・備品管理	建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されているか	施設の状況については、所管課に報告し協議の上、必要な修繕を行うなど、適切に管理した。	建物や設備を適切に管理しており、異常が確認された際は直ちに報告の上、安全の確保している。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われているか	備品台帳等を整備し、利用状況を適切に把握した。	備品の管理、利用状況の把握は適切に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれているか	清掃員2名を配置し、常に清潔な状況の維持に努めた。	清潔な環境が保たれ快適な利用に努めている	
②環境への配慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水に取り組むなど、省エネ対策に取り組んだ。	光熱水費の節減に取り組んでいる。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		B	B
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	所長1名、総務・会計1名、受付案内業務2名(日中、夜間各1名)、清掃業務2名、スポーツ指導員1名を配置し施設の管理運営を行った。	円滑な業務遂行のため、適切な人員配置が行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	利用者に対しては常に丁寧な対応を心掛けた。	クレーム等はなく適切に対応できている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	指定管理者であるシルバー人材センター職員が常に勤務状況を確認し、サンワーク職員の資質の向上に努めた。	更なる資質の向上に向けて、外部の研修等の積極的な受講が望まれる。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	例年、利用者懇談会を開催し、意見等を聞き取りしているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染対策のため、懇談会の開催を中止し、利用者から書面により要望等を提出いただき、意見や苦情の把握に努めた。	アンケートを実施し、利用者の意見や苦情を反映した、施設や業務の改善が必要である。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	職員が利用者の状況を常に把握し、注意喚起を行うなど、事故防止を図った。	適宜、事故防止や安全な利用に向けて、点検・修繕等が行われている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	緊急通報体制や職員の行動マニュアルを作成し、事故や災害時に対応できるよう努めた。	緊急時の対応に向けて、責任者を配置し、体制やマニュアル等が整備されている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	年1回、防災避難訓練を実施した。	マニュアル等に基づき防災訓練等が定期的に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報については細心の注意を払い管理した。	利用者等の個人情報保護の重要性を認識しているが、厳重な管理には至っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支については予算に基づき適切な執行を行った。	収支計画に基づき、概ね適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	文書や帳簿等は適切に管理した。	文書、帳簿、通帳は整理され、概ね適切に管理されている。
5 その他【連携・協議】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者自己評価	(評価欄)
B	令和3年度は、施設の利用者から新型コロナウイルスの感染者が出たことに伴い、1月29日から2月3日までの期間施設を閉館したほか、2月4日から年度末まで市外の利用者を制限したことにより、利用者数等に影響はあった。年度内を通しては、感染対策に留意し施設管理を行い、施設管理は概ね適切に執行されたと判断している。
所管課評価	(評価欄)
B	施設の維持管理に関しては概ね良好に遂行されている。また、光熱水費の節約に務めていた。コロナ禍であっても感染症対策を講じながら施設管理を行い、利用の促進を図っていた。更なる施設の利用促進に向け、新たな展開が求められる。令和4年度から文化スポーツ課に所管替えとなったため、まずは、定期的に協議会等を実施し、利用者増に向け課題を共有し、新規利用者獲得に繋げていきたい。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	福野地区農村公園	所在地	男鹿市野石字上李台102番地1
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○公園面積 1,207㎡土地所有者(町内会) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 487㎡ カラーAs舗装 251㎡・修景施設 サルスベリ 17本 生垣 13m・休養施設 便益 ベンチ 2基 東屋 1棟・遊具 ブランコ等 3基		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福野町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字上李台5番地3	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	50 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	60 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ禍の影響があったが、昨年より市民活動が増えた。			
来年度の目標設定の考え方	今以上にコロナの影響が低下することによって、利用者の増加を見込む。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民の健康増進といこいの場として運営してい る。		市民活動施設として適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が平等に利用できるように運営している。		市民が適正に利用できるように運営されてい る。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき指定管理を行っている。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会と連携をしている。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	公園の整備をし、利用しやすい環境を提供し ている。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、環境整 備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りを定期的実施し、環境維持に努めて いる。		草刈りや花壇整備を実施し、清潔に保たれて いる。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	実施していない。		公園のため、特別な対策をしていない。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員が施設管理を行っている。	町内会役員が施設管理を適正に行なっている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。	適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。	町内会で管理しているため、利用者との応対について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するように対応している。	適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	壊れた危険箇所があった場合、農林水産課に連絡する。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故発生時は、町内会に連絡するようになっている。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を実施している。	適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報を取り扱っていない。	個人情報を取り扱っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料無し。	利用料無料のため、収支計画無し。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	収支が無いため書類無し。	収支資料無し。
5 その他【      】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	市民交流の場として昨年より利用者が少し増えたが、コロナ禍の影響がまだあるが、草刈り等を実施し公園内の環境整備に努め利用者が使いやすい環境を提供した。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、公園内も綺麗に整備されており適正に行われていた。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	申川地区農村公園	所在地	男鹿市野石字申川139番地3
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○公園面積 560㎡ 土地所有者(町内会、一部男鹿市) ○公園施設・園路広場 園路舗装 79㎡ 駐車場舗装 99㎡ ・修景施設 サルスベリ 4本 生垣 57m 芝生舗装 240㎡ ・休養施設 東屋 1棟 ベンチ 3基		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	申川町内会	選定方法	
	所在地	男鹿市野石字申川107	利用料金制	
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	15 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	無し。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ禍の影響が減少することで、利用者増加を見込む。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民のいこいの場として運営している。		適正な運営がなされている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が平等利用できるように運営している。		利用者の平等が保たれている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき指定管理を行っている。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理し、連携をしている。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	公園内の整備を行う。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、環境整 備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	建物、設備管理を適正に行っている。		適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	定期的に草刈りを実施し、環境整備に努めて いる。		草刈りを実施し、清潔に保たれている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	実施していない。		公園のため、特別な対策をしていない。	



4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	施設管理を町内会役員が行っている。	町内会役員が施設管理を適正に行なっている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。	適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。	町内会で管理しているため、利用者との対応について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会の役員に連絡対応している。	適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危険な箇所を発見した場合、農林水産課に連絡する。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の発生時は、町内会に連絡するようにしている。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を行っている。	適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報を取り扱っていない。	個人情報を取り扱っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料無し。	利用料無料のため、収支計画無し。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料が無料のため書類無し。	収支資料無し。
5 その他【      】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	依然コロナ禍の影響がまだあるが、利用者が何時でも利用しやすい公園の環境整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、適正に行われていた。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	八ツ面地区農村公園	所在地	男鹿市野石字東下八ツ面69番地
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○公園面積 739㎡ 土地所有者(男鹿市) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 374㎡ 芝生舗装 284㎡ ・修景施設 サルスベリ 10本 生垣 14m 芝生舗装 240㎡ ・休養施設 東屋 1棟 ベンチ 5基 ・管理施設 フェンス 82m		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	八ツ面町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字東下八ツ面53-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	20 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	30 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	100 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	昨年よりコロナ感染者の減少により、市民活動が少し活発になり公園利用が増加した。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ減少に伴う市民活動の活発により、公園利用が増加見込む。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民の健康増進、いこいの場として運用してい る。		適正な運営がなされている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	平等利用できるよう適正に行っている。		市民が適切に利用できるように運営されてい る。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定や仕様書等に基づき指定管理を行っ ている。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会と連携している。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施なし。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施なし。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	公園内の環境美化整備を行う。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、環境整 備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	安全な管理を適正に行っている。		町内会役員が施設管理を適正に行なってい る。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	適正に対応している。		適切な接遇が行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りや花壇整備し、綺麗な環境に努めてい る。		町内会役員が清掃し快適に保たれている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	実施していない。		公園のため、特別な対策をしていない。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C		C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員で対応している。		町内会役員が施設管理を適正に行なっている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。		適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するように対応している。		適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危険箇所を発見した場合、担当課に連絡対応する。		町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の発生時は、町内会に連絡するようになっている。		適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を行っている。		適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報を取り扱っていない。		個人情報を取り扱っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料無し。		利用料無料のため、収支計画無し。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料が発生しないので書類無し。		収支資料無し。
5 その他【      】				
①	.			
②	.			
③	.			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	昨年よりコロナ感染者の減少に伴い、公園利用者増加があった。花壇や草刈り等を実施し公園内の環境整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、公園内も綺麗に整備されており市民が利用しやすい環境が維持されていた。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	福米沢地区農村公園	所在地	男鹿市福米沢字福米93番地1
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○公園面積 2,430㎡ 土地所有者(町内会:熊野神社) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 594㎡ 芝生舗装 235㎡ ・休養施設 ベンチ 4基		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	福米沢町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市福米沢字福米9番地	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	80 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	80 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	80 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	無し。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ禍の影響が減少すれば、公園利用者増加を見込むことが出来る。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民コミュニティ活動の場として運営している。		適正な運営がなされている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	平等利用できるように運営している。		市民が正しく利用できるように運営されている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定及び仕様書に基づいて指定管理業 務を行っている。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理し、連携をしている。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	公園内の整備を行う。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、環境整 備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	設備管理を適正に行っている。		適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	草刈りをし、綺麗な環境整備に努めている。		草刈りを実施しており、環境整備に努めてい る。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	実施していない。		公園のため、特別な対策をしていない。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会役員が行っている。	施設管理を町内会役員で適正に行なっている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。	適切な接遇が行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない	町内会で管理しているため、利用者との対応について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会の役員に連絡対応している。	適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危ない所があれば町内会に連絡後、担当課に報告する。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の場合は、町内会に連絡する対応している。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を行っている。	適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報を取り扱っていない。	個人情報を取り扱っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料無し。	利用料無料のため、収支計画無し。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	収支無しのため書類無し。	収支資料無し。
5 その他【       】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	コロナ禍の影響がまだあるが、何時でも公園の利用しやすい環境づくりとして草刈り等を実施し公園内の環境整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、広い公園内も草刈等により整備されており市民が利用しやすい環境が維持されていた。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	野石地区農村公園	所在地	男鹿市野石字才ノ神11番地2
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○公園面積 2,380㎡ 土地所有者(男鹿市) ○公園施設・園路広場 ダスト舗装 594㎡ ・休養施設 ベンチ 1基 スツール 3基 ・植栽ねむの木等 9本		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	野石町内会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市野石字水上台39-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 公園の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 公園の施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	市民に健康増進といこいの場を提供し、地域連帯感の醸成と豊かな人間性を養うと共に、青少年及び児童の健全な育成を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	320 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	400 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	399 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ感染者の減少に伴い、市民活動が少し増えて利用者が増加した。			
来年度の目標設定の考え方	さらなるコロナ患者減少に伴う公園利用が増加見込む。			



#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	市民の健康増進といこいの場として運営してい る。		市民活動施設として適正に運営されている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	市民が平等に利用できるよう適正な運営してい る。		市民が適切に利用できるように運営されてい る。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき指定管理を行っている。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	町内会で管理し、連携をしている。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施していない。		町内会で管理しているため、利用者との対応に ついて問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	公園内の整備を行う。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、環境整 備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	設備管理を適正に行っている。		適切に対応し、機能が保持されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	定期的に草刈りを実施し、清潔に努めている。		清潔に保たれている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	実施していない。		公園のため、特別な対策をしていない。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	町内会で施設管理運営をしている。	施設管理を適正に行なっている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。	適切に対応している。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。	町内会で管理しているため、利用者との対応について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	町内会に連絡するように対応している。	適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	事故等発生時は町内会に連絡するようになっている。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の発生の場合には、町内会役員に連絡するようになっている。	町内会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を実施している。	適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報は取り扱っていない。	個人情報は取り扱っていない。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	利用料無し。	利用料無料のため、収支計画無し。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	利用料無料のため書類無し。	収支資料無し。
5 その他【      】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	昨年より利用者が少し増えたが、コロナ禍の影響がまだあるが、草刈り等を実施し利用者が使いやすい環境を提供するため公園内の整備に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、広い公園内も草刈等により整備されており市民が利用しやすい環境が維持されていた。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市農村婦人の家	所在地	男鹿市脇本脇本稲荷下3-2
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○建物面積 236.83㎡ ○土地面積 472.23㎡ 土地・建物所有者(男鹿市) ○施設 ・農漁産加工室 ・調理実習室 ・研修室・高齢者創作室・小会議室		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	脇本郷財産管理委員会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市脇本脇本字稲荷下3番地2	利用料金制	利用料金
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 施設の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	農村婦人が共同学習、農産加工、健康増進、創作活動等多面的な活動を通じて、生活改善についての知識及び技術の習得。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	460 人	371,566 円 0	371,566 円	0 円
当該年度目標	500 人	380,000 円 0	380,000 円	0 円
当該年度実績	560 人	337,266 円 0	337,266 円	0 円
実績等の増減原因	コロナ感染者の減少で、利用者が昨年より少し増加となる。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ禍の影響が低下することで、利用者増加を見込む。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	施設の設置目的等を理解し運営を行った。		市の方針や設置目的を理解し、適切な運営を 行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	利用者が平等に利用できるよう運営を行っ た。		利用者が平等に利用できるよう適正な運営に 努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき業務を適正に行った。		基本協定に基づき指定管理の業務を適正に 行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	協本郷財産管理委員で管理し、連携を図っ ている。		連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	実施していない。		実施していない。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	実施していない。		利用者への対応について問題なし。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	利用者が平等に利用できるよう対応を行っ た。		適正に行われている。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者に対するサービス向上のため、施設内 環境整備に努めた。		適正に行われている。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	使用後に綺麗に掃除し、設備管理を行って いる。		設備管理が良く行われている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		適正に行われている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	使用後に清掃し環境維持に努めている。		清潔に保たれている。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	節電節水など取り組んだ。		施設管理を適正に管理されている。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C	C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	管理や清掃等出来る人を配置している。	協本郷財産管理委員会で、人材を適正に配置している。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適切である。	適切に対応している。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。	利用者との応対について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	協本郷財産管理委員会で対応。	適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	修繕等が必要箇所をを発見した場合、管理委員会から農林水産課に連絡し対応する。	管理委員会から農林水産課に連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の発生の場合には、管理委員会から農林水産課に連絡し対応する。	適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を行っている。	適正に行われている。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	利用者の情報は注意を払い管理している。	利用者の情報に注意を払い適正に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	基本協定書に基づき業務を適切に行った。	適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	管理を適正に行っている。	適切に管理されている。
5 その他【      】			
①	.		
②	.		
③	.		

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	コロナ感染者の減少で、利用者が昨年より少し増加となる。今後も利用者の使いやすい施設の環境を提供し、引き続き適正な管理運営に努めます。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、施設が整理整頓され、利用者が使いやすく清潔に保たれている。引き続き維持管理に努めてほしい。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	男鹿市農林水産物直売所	所在地	男鹿市北浦真山字白根坂台150-1
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○建物面積 102.68㎡ 土地面積 1,219㎡ ○施設・駐車場 ・加工所・包装室・休憩室・展示室		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿市なまはげ直売所運営協議会	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦真山字白根坂台150-1	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 施設の使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	地域農林水産物及び特産品の生産性の向上と販売促進により、農林漁家等の所得の増大を図る。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	14,940 人	2,592,410 円 (0)	2,754,196 円	(161,786) 円
当該年度目標	15,000 人	2,600,000 円 (0)	2,600,000 円	0 円
当該年度実績	15,012 人	2,226,877 円 (0)	2,766,081 円	(539,204) 円
実績等の増減原因	利用者が前年より増えたが、コロナ禍の影響がもあり売上の減少となる。			
来年度の目標設定の考え方	コロナ感染者の減少により、利用の増加を見込む。			

#### 4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

#### 5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	施設の設置目的を理解し運営を行った。		設置目的を理解し、適切な運営を行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	平等利用できるように運営を行った。		平等に利用できるように適正に行われている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき業務を適正に行った。		基本協定に基づき、業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか	出品者との連携を図っている。		出品者と連携が図られている。	
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか	地元の野菜等や加工商品の販売。		地域の食材を積極的に販売している。	
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか	チラシ等を作成し、イベントなどを知らせてい る。		積極的に情報提供を行っている。	
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか	コロナ禍のため、アルコール消毒や換気の徹 底をしている		施設利用対策として、コロナ禍の対策を取り組 んでいる。	
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか	利用者が商品を見やすい環境を作った。		商品展示の工夫がなされていた。	
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	清掃等を定期的に行って設備管理を行ってい る。		綺麗に整理整頓されており、適切に管理されて いる。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか	備品管理を適正に行っている。		備品管理を適切に行っている。	
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか	コロナ感染症対策のため、消毒や換気の徹底 した。		建物内が清潔に保たれ、コロナ対策も行ってい る。	
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか	細めな消灯を徹底して光熱費の省エネに努め た。		光熱費の節減に努めていた。	

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C		C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	営業時の人員を適切に確保し運営している。	適切に行われている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	挨拶や親切な対応に努めた。	適切に行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	全県研修会に参加。	研修に参加し、資質向上に努めた。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	意見等があった場合、男鹿市なまはげ直売所運営協議会内で対応する。	適切に対応している。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	危険箇所や、不具合がある際は速やかに処置をしている。	事故発生対応後、農林水産課に連絡されるようになっている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	事故等の発生の場合には、農林水産課に連絡するようにしている。	適正に行われている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	避難訓練を行っている。	適正に行われている。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	出品者の個人情報管理は、注意を図り管理している。	個人情報は、注意を図り適正な取り扱いが行われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	収支計画については、予算に基づき適切な執行を行った。	収支計画は、予算に基づき適切な処理がなされている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	適切に行っている。	適切に管理されている。	
5 その他【      】				
①	.			
②	.			
③	.			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	施設利用者が昨年より少し増加となる。コロナ感染者の減少で利用者の増加が見込まれる。今後は、売上の増加に努めたい。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地調査及び業務報告書等を確認した結果、施設及び備品等は適切に維持管理を行っているため、利用者が利用しやすい環境を提供していた。今後は、売上の増加に努めてもらいたい。



# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	平岱山牧野	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○面積 38.4ヘクタール 土地所有者(男鹿市) 家畜の飼養と採草。		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	男鹿市北部草地利用組合	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦西水口字大坂下16	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. 放牧及び採草計画に関する業務。 4. 施設の草種及び草生改良計画に関する業務。 5. 有害な植物及び障害物の除去並びに害虫の駆除に関する業務。 6. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	家畜の飼養と採草。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	2 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度目標	2 人	0 円 (0)	0 円	0 円
当該年度実績	2 人	0 円 (0)	0 円	0 円
実績等の増減原因	利用者が昨年と同じである。			
来年度の目標設定の考え方	今年度と同じ採草計画。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	施設の設置目的を理解し運営している。		市の方針や設置目的を理解し、適切な運営を 行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	平等に利用できるように運営を務めた。		利用者が平等に利用できるよう適正な運営に 努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき指定管理業務を適正に行っ た。		基本協定に基づき業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	採草地として適切に管理している。		適切に管理されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか				
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか				
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C		C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	適正に行っている。		適正に行われている。
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適正に行っている。		適正に行われている。
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	実施していない。		利用者との対応について問題なし。
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	男鹿市北部草地利用組合で対応する。		適正に行われている。
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	男鹿市北部草地利用組合で対応する。		男鹿市北部草地利用組合で対応し、連絡されるようになっている。
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	男鹿市北部草地利用組合で対応し、農林水産課に連絡をする。		適正に行われている。
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	実施していない。		家畜の採草用地のため、避難訓練を行っていない。
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	利用者の情報は注意を払い管理している。		適正に取り扱われている。
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	男鹿市北部草地利用組合での収支計画を適正に行った。		適切に執行されている。
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	管理を適正に行っている。		適切に管理されている。
5 その他【      】				
①	.			
②	.			
③	.			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	利用者に家畜用の採草場所の提供と、施設を適正に維持管理に努めた。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地確認の結果、施設の維持管理を適正に行っている。今後も、利用者の対応や施設の維持管理を行ってほしい。

# 指定管理者モニタリングシート

対象年度	令和3年度
作成日	令和4年6月30日
所管課	農林水産課

## 1 公の施設

施設名称	館沼牧野・館沼第2牧野	所在地	男鹿市北浦西水口字館沼1, 2
指定期間	令和3年4月～令和8年3月	評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月
施設概要	○面積 3.2ヘクタール 館沼 2.0ヘクタール 館沼第2 1.2ヘクタール		

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	西水口郷中	選定方法	特命
	所在地	男鹿市北浦西水口字櫓坂51	利用料金制	なし
施設の運営・維持管理の業務内容	1. 使用の許可及び使用の制限等に関する業務。 2. 施設及び設備の維持管理に関する業務。 3. 放牧及び採草計画に関する業務。 4. 施設の草種及び草生改良計画に関する業務。 5. 有害な植物及び障害物の除去並びに害虫の駆除に関する業務。 6. その他必要と認める業務。			
自主事業の実施状況	家畜の飼養と採草。			

## 3 施設の利用状況

	利用者数	収入(A) (うち指定管理料)	支出(B)	収支額(A-B)
前年度実績	3 人	77,000 円 (0)	0 円	77,000 円
当該年度目標	3 人	77,000 円 (0)	77,000 円	0 円
当該年度実績	3 人	77,000 円 (0)	0 円	77,000 円
実績等の増減原因	利用者が昨年と同じ。			
来年度の目標設定の考え方	今年度と同じ採草計画。			

4 利用者満足度の状況

利用者満足度の状況	
利用者アンケートの内容	

5 個別検証

検証項目		指定管理者による 自己検証	指定管理者 自己評価	市(所管課) による検証	所管課 評価
1 運営方針			C		C
①平等な利用 確保	市の方針、施設の設置目的等を的確に 理解し運営されているか	的確に理解し、運営している。		市の方針や設置目的を理解し、適切な運営を 行っている。	
	利用者が平等に利用できるよう適正な 運営がなされているか	適正に運営している。		利用者が平等に利用できるよう適正な運営に 努めている。	
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			C		C
①法令等の遵 守	条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、 指定管理者の業務を適正に行っているか	基本協定に基づき指定管理業務を適正に行っ ている。		基本協定に基づき業務を適正に行っている。	
②地域振興へ の貢献	地域関係機関、ボランティア等との連携 が図られているか				
	地域の特性を活かした自主事業を実施 しているか				
③広報活動の 実施	施設情報の提供や自主事業のPRを積 極的に行っているか				
④施設の利用 促進	施設の利用促進に向けた効果的な取組 を行っているか				
⑤サービスの 向上	利用者に対するサービス向上の取組が なされているか				
3 効率的な管理			C		C
①施設・備品管 理	建物・設備が適切に管理され、安全性と 良好な機能が保持されているか	採草地として適切に管理している。		適切に管理されている。	
	備品が適切に管理され、利用状況の把 握も適切に行われているか				
	市民が快適に利用できるよう、清潔に保 たれているか				
②環境への配 慮	電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制 など省エネ対策に取り組んでいるか				

4 適正かつ確実な管理を行う能力		C		C
①適正な人員配置	施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われているか	採草用地として適切に管理している。	適切に管理されている。	
②接遇・研修・苦情対策	利用者に対する職員の接遇、マナーは適切であるか	適正に行っている。	適正に行われている。	
	職員の資質の向上のため、研修等を行っているか	行っていない。	利用者との応対について問題なし。	
	アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っているか	管理している西水口郷中役員で対応している。	適正に行われている。	
③安全管理・危機管理	事故防止のための取組を行っているか	管理している西水口郷中役員で対応する。	西水口郷中役員で対応体制が整っている。	
	事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されているか	管理している西水口郷中役員で対応して、担当課に連絡する。	適正に行われている。	
	マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っているか	実施していない。	家畜の採草用地のため、避難訓練を行っていない。	
④個人情報の保護	個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られているか	個人情報保護の重要性を理解し、利用者の情報は注意を払い管理している。	適正に取り扱われている。	
⑤収支状況	収支計画に基づいた適切な執行を行っているか	西水口郷中収支計画に基づく適切な執行を行った。	適切に執行されている。	
	文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っているか	管理を適正に行っている。	適切に管理されている。	
5 その他【      】				
①	.			
②	.			
③	.			

6 総合評価

指定管理者 自己評価	(評価欄)
C	指定管理者として維持管理を適正に努め、利用者に採草場所の提供した。
所管課 評価	(評価欄)
C	現地確認の結果、施設の維持管理を適正に行っている。今後も、利用者の対応や施設の維持管理を行ってほしい。

